京城日報

五月八日夕刊
（朝刊と併せて八頁）

本紙定價　▲一部金二錢五厘▲一ヶ月金五十錢▲郵税一ヶ月金十五錢
廣告料金　▲七字詰一行金[illegible]▲[illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
電話番號 [illegible]　振替口座京城二〇〇番

○米勞兵會抗議接受

華盛頓來電＝米國々務省は露西亞共和國勞兵會の發したる抗議を接受せり（桑港電報）

○外米輸入指定條件と命令事項

仲小路農相は七日外米輸入に關する指定條件を發表すると同時に外米管理令の精神を徹底せしむる爲め八箇條より成る命令事項を發表し片山臨時外米管理部長は同日附を以て地方長官、全國商業會議所、府縣農會に向け此際外米消費の増進に依り米價調節に資せん事を慫慂する意味の通牒を發したり（東京特電）

○外米指定商指定價格並に買入條件

農商務省は外米輸入指定商並に指定價格其他に關し七日左の如く發表ありたり（東京特電）

▲指定輸入商　三井物産株式會社▲合名會社鈴木商店▲合名會社湯淺商店▲株式會社岩井商店

▲指定價格　販賣指定價格は西貢二等白米百斤に付税込神戸庫出渡七圓五十錢（一石當り十八圓七十五錢）を標準とする方針也賣出期日は追て發表す可し

▲買入條件　在庫品及既約未着品は希望に依り左の條件にて指定商をして買入せしむ可し

（一）西貢二等白米。神戸沖著税無し百斤八圓二十錢とす

（二）西貢二等以外は左の格付に據る但し通關濟のもの及び碎米糯米は此買入れの範圍外とす

（イ）西貢一等白米は西貢二等白に比し二十錢格上げ（ロ）『SG』蘭貢白米は西貢二等白に比し二十錢格上げ（ハ）秋産東京一等白米は西貢二等白に比し三十錢格上げ（ニ）秋産東京二等白米、同上（ホ）秋産東京三等白米は西貢二等白に比し三十錢格下『備考』品傷み、斤掛等に就きては相當の格下を爲すものとす

（三）神戸沖渡以外のもの、內地關門司、長崎は神戸と同一價格とし横濱、名古屋、四日市、半田は百斤廿二錢の運搬料を附加す

（四）右の買入は本月十七日迄を以て打切る方針也

▼政府補償金と外米到著數

政府の外米販賣指定價格は別項の如くなるが政府の補償金は石當り五圓三十錢見當にて是れに口錢其他諸費用を（此の間電文脫漏）外米實際の販賣價格は石二十圓乃至二十一圓見當なる可く目下外米在庫品は横濱、神戸、下關、名古屋其他に七十萬袋あり是れに六月末迄に本邦に到著す可きものを合算すれば百八十萬袋即ち約百二十六萬石にして是れに對する政府補償金は差當り六百卅萬圓內外なる可し（東京特電）

○大阪白米値上

八日より大阪市內白米小賣一升に就き六厘方の値上を見たり（大阪特電）

○松川軍司令官

松川軍司令官一行は七日午後七時五十分著列車にて來馬早月旅館に投宿したり（馬山特電）

○政務總監招宴

八日午後七時より總監官邸に於て山縣政務總監同夫人主人となり在京各國領事同夫人並に總督府側より鈴木度支部長官同夫人高橋武官同夫人久水外事課長同夫人を招待し晩餐會を開催せり

○府令四件發布

何れも九日より施行

奏任及び判任官待遇監獄職員の定員改正の件は九日府令を以て發布即日施行さるべきが改正の要旨は看守並に女監取締の定員を增加し數中の看守は之を定員外としたるものにして右は在監人員に對し現在の定員を以てすれば看守一人に付十八人三分及び女監取締一人に付二十四人六分に相當す然るに近時獄務は作業並に行刑の改善に伴ひ徐々警醒を加ふるの處あるを以て到底現行人員を以てしては行刑の効果を期し能はざるものあるに依り今回の改正を見たるものなり▲朝鮮總督府看守採用規則中改正の件は九日府令を以て發布即日施行せらるべく改正の要旨は從來の採用試驗科目中になかりし朝鮮語（鮮人に對しては國語）今回新たに加へられしものにして右は看守の職務執行上洵に緊要なるものあるを以てなり尙其試驗は當分の內施行せざることを得る旨併せて規定せられたり▲釜山棧橋使用に關する件は九日府令を以て發布即日施行せらるべく右は釜山棧橋及び同基部陸上設備完成に伴ひ近く使用を開始すべきを以て今回使用規則の規定發布を見る次第なるが內容の主なるは使用前十時迄に又當時棧橋を使用する者即ち定期航行船の如きは前月中に何れも使用の許可を受くること等を始め使用料、取扱手續其他を定められたるものなり▲釜山稅關所屬曳船使用規則は府令を以て九日發布即日施行さるべきが右は釜山稅關棧橋使用開始に伴ひ同署所屬曳船の使用に關する規則を制定されたるものなり

◎四月貿易

總計二千六十三萬餘圓
累計七千五百四十餘圓

四月中に於ける朝鮮貿易額は輸移出品價八百二十七萬餘圓輸移入品價一千二百三十五萬餘圓合計二千六十二萬餘圓にして前年同月に比し輸移出百七十萬餘圓輸移入二百四十九萬餘圓合計四百十九萬餘圓を增加せり次に一月以降累計貿易額は輸移出品價三千六百八十七萬餘圓輸移入品價三千八百五十六萬餘圓合計七千五百四十餘圓にして出入の差額は入超百六十八萬餘圓を計上し之を前年同期に比較するときは輸移出一千三百二十九萬餘圓輸移入一千百七十一萬餘圓合計二千五百一萬餘圓を增進し而して入超額百五十七萬餘圓の減少を示せり更に出入貿易の內容に就き前年同月と比較するに輸移出に於て米は輸出制限の發露及び支那向共に著しき減少を示せるのみならず內地移出も先高見越にて鮮市況手控へ取引不振を免かざりしを以て結局輸移出總額は前[illegible]並に於て七萬四千石の減退なりも市價騰貴の折柄價額に於て二十二萬餘圓を增進し小麥は內地製粉の需要漸增の爲め十二萬餘圓を綿花は産額の增加と繰棉工場の新興に伴ひ今後出廻盛況にして七十八萬餘圓を激增し其の他重石鑛四十一萬餘圓黑鉛に七萬餘圓生牛に十四萬餘圓煙草に七萬餘圓肥料に六萬餘圓の增加額を算せり之に反し在荷の稀薄と輸送の澁滯とに依り大豆に四萬餘圓鐵石の回少に基き含金銀粗銅に二十二萬餘圓を減少し其の他蘭に五萬餘圓及び汰鑛並に牛皮に各十一萬餘圓を減退せしも差引輸移出總額に於て前記の增進を示せり輸移入に在りては織絲は內地市場の高値を持續せる反面に販路倉庫の在荷繁加と輸出品の支那市場に停滯せる等の實狀より註文手控の有樣にて移入市場は頗る不振を極め僅に五萬餘圓の入荷を見しに過ぎずして之を前年同月に比するときは五十三萬餘圓を減じ其他石油は輸送船の關係より四十三萬餘圓支那麻布は銀價高と船腹の不足に因り十五萬餘圓爆發物は鑛業界の閑散に基き七萬餘圓を減少せしに拘はらず米價の硬調に連れ外米並に滿洲粟の輸入は益旺盛にて米に三十萬餘圓粟に五十萬餘圓を增加せしのみならず輸送力の不足より在荷排底なりし砂糖は本月に入り續々入荷を見たる結果十萬餘圓を增進し尙又事業用品の輸移入は引續き盛況を呈し熟鐵に三十三萬餘圓石炭に三十七萬餘圓木材に十五萬餘圓諸器機械並にセメントに各五萬餘圓を增加せし等に依り本月の輸移入貿易は如上一千二百三十五萬餘圓てふ未曾有の巨額を算するに至れるものなり

◎朝鮮財界の大膨脹（下）

資金消化力の激增せし原因

朝鮮內各銀行の最近に於ける普通貸出高が總計に於て八千二百萬圓の巨額を算し之れを前年に比し三千二百萬圓乃ち七割の激增を來し居れる事は前述の如く、何故朝鮮本年の財界が▲資金の消化力に於てかく躍進的膨脹を來せしかは興味ある研究資料たるを失はず乃ち之れを大觀するに（一）物價騰貴による銀行貸出の增嵩（二）滯貨の運續より來る貸出の固定的傾向（三）各種事業の著手計畫並に鑛業の發展に伴ふ資金の需要增を擧ぐるを以て適當とすべし、此三者は何れも銀行貸出の大膨脹に直間接の關係を有し居れるが、就中（一）の物價騰貴は最も多く貸出激增に干與あり蓋し朝鮮生産品たる米大豆棉花牛皮其他重要品の▲最近の相場は悉く昨年に比し一割乃至三四割の暴騰を告げ居り又輸移入品の大宗たる綿絲布を初め麥粉砂糖鐵類石油酒類等の各品は本紙に於て每月其の相場の高低を報ずる如く大體に於て何れも騰貴の趨勢を續け居れり、故に各品に就き前年の同期と其の價格の比較を試むる如き事は到底煩に堪へざるも要之諸價の騰貴夫れだけ銀行貸出し擔保評定價額の昂上を見る譯にて均しき數量に均しき歩合を以て金融の途をつくるも・銀行貸出の增大は到底避くべからず若し銀行が之れを不自然に緊縮抑壓せんとすれば其の結果▲金融の梗塞を來し財界に不祥事を惹起するなきを保せず（二）滯貨の運續も亦銀行貸出しの增嵩に與つて力多し乃ち朝鮮內の內地行き貨物並に鮮內發着の貨物停滯は最近に於ても六萬噸以上を算し居れるもの、如く、殊に一月中に輸送を鐵道に申込めるものにして猶ほ滯貨として約半歲の永き空しく停車場の倉庫に藏せられたる者三四千噸を算する現狀にあり（三）の各種事業の計畫著手並に鑛業の發展による各種資金の需要は決して小額ならざる如し、殊に各種事業の▲所要資金は之れを昨年に比し著しく增加せしならんと信ずべき節あり、要するに前揭の材料は因となり果となり鮮內資金の消化力を膨脹せしめ居れるものにて銀行貸出しが必らずしも不健全なる增加を來せりとは云ふ能はざるも一點注意すべきは、昨年ノ季に於ける朝鮮の財界と本年の財界が銀行貸出數字に現はれ居る程物價に於て和違し、滯貨に於て和違し、事業資金、並、鑛業の狀態に於て相違し居れるかは問題とすべくそこに若干の疑問の萌すを禁ずるを得ず

▲內地財界の緩調を來せる今日、朝鮮の金融業者も幾許か戒心の度を加へざれば面白からざる反動來の模樣なきかと案ずる向きあるに似たり記者は朝鮮銀行幹部に向つて銀行貸出膨脹に對する所見を叩きたるに某氏は曰く鮮銀貸出しの膨脹は朝鮮財界の自然的發展に伴なへりと云ふ外多くの理由なし、尤も同業銀行並に有力なる會社及び個人に對する信用貸附は若干昨年より增加せるも問題となる程の激進に非ず、予等は警戒すべき點は大に戒し居れば目下の財界の膨脹狀態に不健全の傾向ありと云ふが如きは斷じて承認し難き說なりと語れり

▲訂正　本記事の前回中第三行目他の銀行二千二百萬圓とあるは一千四百萬圓の誤植に付訂正す

◎客月通關貿易

京城稅關出張所の調査に係る客月中京城出入重要品狀況を聞くに輸移出品價合計二十七萬一千四百四十九圓輸移入品價合計二百十二萬八千七百二十四圓を算せり而輸移出入品の重なるものを擧ぐれば輸移出に在りては價格に於て最高さし牛皮の一萬五千九百十四圓肥料の一萬二千四百二十八圓重石鑛の七千百圓大豆及び米の各々二千餘圓等之れに亞げり而して輸移入品側に在りては粟の十八萬四千九百二十圓を價格に於て最高とし生金巾反及び生シーチングの九萬六千餘圓、本木綿の九萬餘圓煙草の九萬六千餘圓洋紙の六萬九千餘圓其他紙類の八萬四千餘圓小麥粉の四萬九千餘圓綿織絲の二萬九千餘圓果實及び椒子の二萬九千餘圓等是れに亞げり

◎九州見物（五）

磐溪生

千代の松原

共進會の見物を了へて東公園を訪ふ、博多より箱崎まで約一哩の防風林の形を成す松林打續き遠く之を望めば鬱茂たる紺青の▫波濤の如く　是一度千代の松原に入り、亭々として枝を交ふる古松を仰げば幾萬の龍蛇一時に天を衝つて飛騰し、雲を吐くに似たり、其狀頗る奇觀を呈す、松の之れを昌德宮內の秘苑の鬱蒼たる松林に比すれば幽遂の氣、人の襟を襲ふは秘苑の領分なるも背波一碧の大海を背景にしたる白砂青松の雄大美は獨り千代の松原の領分のみ、日本三大公園の一として東公園を有する事を誇りとする福岡市民の

▫幸福を羨望すると共に京城市民のために秘苑を開放し、散策の自由を得せしめたらんには京城市民は東公園を有する福岡市民以上の誇りを以て秘苑を謳歌謳美するならんと、內鮮人共に相顧みて囁やく、只王族の有、平民の庭に穢さるゝを虞ると言はゞ夫までなり

▫花より團子　物質文明に中毒せられつゝ有る、福岡市民が、千代の松原を有するは、大なる幸福にて、燦爛の巷に狂噪し、マシン油に塗れ、自働車に追はれ、疲勞困憊したる時

▫煙波漂渺の博多灣を眺めつゝ、松籟を聽き颯々たる凉風に浴さば、心神共に洗はるゝが如き愉快を覺ゆるなり、市民は保健上よりも、名勝を愛する上よりも、斯る大公園に對しては、何處までも保護を加へざる可らざるなり、聞說中村精七郎氏の博多灣築港計畫にして愈々着手せらるゝならば、千代の松原は悉く根拔ぎにされ

▫文人雅客が清興を惹にせし名勝は、俗塵碌々の巷に化すならんと都市の發展策より外に眼中何者もなき市民は、北九州の工業の中心地として、唯一の對支貿易港として、對支、對鮮貿易港として重要の地位を占めんとせば先づ大博灣を埋設せざる可らずとなし、天下の名勝も煙の鼻息に吹き飛ばされ了んぬ可き

▫運命に瀕す　某記者曰く千代松原の保存說でも唱へたが最後市民の嫌打ちに遭ふ可しと、今の世の中は何事も花より團子なり、設し請れば大公園を有する誇りよりも貿易額何億入日何十萬と都市の繁榮を誇る方が市民に取りては、物質主義の都市[illegible]かる可し、千代の松原に訪ひの[illegible]風の悲哀ぞ如何に

◎昨年桑田反別

反別の多きは忠淸南道

大正六年十二月末現在調査に係る桑田は桑樹のみ栽植せる反別に千四百二十町二反歩他作物の間又は畦畔等に栽培せる桑樹の見積反別一萬一千三百十七町二反歩合計一萬八千七百三十七町四反歩にして前年に比し三千二百五十八町九反歩即ち二割一分を增加せり今之を地方別に就きて見るに總反別の最も多きは忠淸南道の二千四百町歩にして慶尙北道の二千三百町歩平安北道の二千二百町歩京畿道の一千八百町歩平安南道の一千六百町歩之に順次し其の最も少きは咸鏡北道の三百町歩なりとす又新設反別の最も多きは慶尙南道の五百六十町歩にして平安北道の五百町歩平安南道の四百町歩全羅南道及び京畿道の三百町歩之に順次し其最も少きは咸鏡北道の五十町[illegible]非ず從來養蠶家は在來桑の外山桑を利用し優良桑を栽培する者少かりしも近時蠶業の發達に伴ひ優良桑の必要を感知し自ら進むで桑苗を育成し又は購入する者益多きを加へ大正六年の優良桑樹栽植面積は叙上の如き增加を見るに至れり然れども是等の桑樹は栽植後日尙淺きと栽培方法其の宜しきを得ざるものあるとに依り未だ豫期の收穫を得るに至らず大正六年に於ては既設桑田反別一萬五千四百四十六町九反歩の外三千九百五十二町六反歩の山桑を利用し漸く[illegible]を得たるの狀況なり而後一層優良桑樹の增殖に努むるは勿論既設桑樹の肥培管理を懇ろにして以て收葉量の增加を圖らざるべからず左に桑田段別累年比較を揭ぐ

年次	桑田反別	見積反別（見積反別は增設畦畔等に植栽せるもの）
明治四十三年	八九一、六反	二四五一、九反
四十四年	九八、八	二、九八二、三
大正元年	一、三七、二	三、九八九、二
同二年	二、一六七、二	五、二九四、三
同三年	二、九二八、二	七、三一八、〇
同四年	四、〇三九、五	八、七九三、八
同五年	五、三九六、六	一〇、〇八一、九
同六年	七、四二〇、二	一一、三一七、二

備考　大正五年山桑利用見込反別三、二九三町三同六年三、九五二町六

◎東省實業役員

日鮮支人を擧ぐ

奉天に設立されし東拓關係の東省實業會社は四日奉天に於て創立總會を開き創立費用承認並に役員の選任をなせしが會社重役は如左
社長馬誠恭平、取締役內藤熊喜（東拓推薦）砺谷休、川藤定吉、神成季吉、中野初太郎、染谷安藏、古城管堂、周榮弟、監査役王護人、韓千龍、內田鎮一、松井小右衛門、藤田與四郎、相談役河井松之助、大越文平、雷星恒、王建極、張會當、郭會純、唐瀛
乃ち日鮮支人を役員とせるものにて此種の事業會社は恐らく嚆矢ならんと

◎久保京管局長　車中談

七日夜東京より歸京せし久保滿鐵京管局長の談に曰く

▲滿鐵直通廢止　朝鮮で普通滿鮮直通列車と云つてゐる滿鐵の最大急行は十二日より廢止する事となつたが、コレは先々月西伯利亞線の滿洲里附近が破壞され不通となりし時からの問題であつた何分目下の如く哈爾賓までの接續ならば特に急行を出さぬでも普通急行で十分間に合ふ、實は西伯利亞線連絡の途を絕たれた時から本列車の生命は殺がれてゐたのです乘客の少ない不經濟な列車を運轉すると云ふのは面白い事でない、この休止で朝鮮線のみでも機關車が五臺ばかり浮くから輸送力增加の効果が少なくない、左樣列車の休止による惡影響は極めて微弱だと思ふ

▲吉會線問題　吉林會寧間の鐵道問題は要路に就て今後の話を多少聞かねばならないが、唯だ少し致すまでに進んでゐないが、力方面で本線の建設問題が閑却されてゐないと云ふ事を附け加へて置かう、聞く所によると會寧から間島の龍井村を經て天寶山銅鑛に至る輕鐵は最近支那側より計畫し敷設を許可されたと云ふ事だがさうした輕鐵は吉會線建設の前提としてその成立を歡迎すべきものでせう

▲貨客增加　朝鮮の鐵道も貨客の增加は素晴らしいが、內地鐵道は乘客の激增と貨物の過大なるによる一般の受くる混雜と不利は甚だしい、何でも四月中旬に於ける某日の內線全部の收入は十五萬圓を示し最高記錄を作つたと云ふが、輸送方法を現在の儘にして置くと云ふ事は素より不可なるべく何等か根本的に對應策を講ぜねばならぬだらう、鐵道賃金の値上げですか、それは實施期は知り得ないが當局にて色々調査はしてゐられるやうだ

▲新外相　寺內首相の病氣は大した事ではないらしい夫人も段々よろしいやうに伺つた、後藤新外相には一再ならずお目に懸つたが頗々元氣で恐らく誰しも意味に於て一般の期待を滿足さするであらう、東滿線に關する色々の問題、それも新外相の施設の內に入るであらう

◎久保局長總監訪問

八日午前十時半久保滿鐵京城管理局長は山縣政務總監を訪問し歸局の挨拶を爲したり

◎揮春觀察團日程

視察團は九日の日程は午前龍山兵營を午後景福宮博物館を視察後官民有志の主催に係る慶會樓に於ける歡迎會に臨席すべし

◎府郡主任書記會同

京畿道廳にては管內府郡庶務係主任書記を召集し來る二十日より五日間會同す可し

◎井口氏送別會

土地調査局監督を退官の上新義州製紙會社に入りたる井口文彥氏の送別宴會は七日午後七時より京城ホテルにて開催したるが出席者多數ありたり同氏は九日夜北行赴任すべし

◎網島牧師入京

綱島佳吉氏は七日內地より入京龍山織居氏に滯在中なり尙ほ三四日間滯在の上[illegible]可し

人事

▲林茂樹氏（總督府事務官）釜山出張を命ぜらる
▲吉川雙治氏（秘書課囑託）東京へ出張を命ぜらる
▲大久保到氏（全北第一部長）福岡、鹿兒島、山口、廣島の四縣へ出張を命ぜらる
▲織田雙平氏（技師）內地出張中の處六日歸任
▲渡邊博氏（朝鮮元山出張所長心得）八日朝赴任
▲都督北京公使館附武官一行四名　七日夜通過內地へ
▲入澤京畿第一部長　八日朝開城へ
▲吉田鐵三郎氏（製鐵會社長）七日夜新義州へ
▲足立瀧二郎氏（十八銀行支店長）七日內地へ
▲スターン氏（哈爾賓領事）七日朝入京朝鮮ホテルへ

茶前酒後

○又々講和提唱が、羅馬法王によつて、提唱せられんとすと傳へらる。○講和榮衲とは云へ、國分お手數をかくるもの也。○獨帝の好餌として、國民を的り、普選擧法案も、獨帝の見事に普魯西議會にて否決され、獨帝の保證も、國民の信用もなき權の價値もなく、政府の效能も人民より見れば、一杯喰はされたる昔せしは當然にして、勃然として[illegible]なる危機に瀕して、獨逸の內[illegible]。○獨軍西部戰線に行き詰り、國內は更らに食料減耗の止むなきに至り、尙ほ其上にお供の墺匈國は正に蝸牛の道に陷つて、各々相反目の內情を示す。法王の講和も提らざるべからざる自覺しつゝも、容れ法衣の袖にすがつて、講和を提せんとする、其裏面の苦心や、切なる者多かるべし。○獨逸のヒンデンブルヒは、近代の戰闘は、性質上、大勝を博し得べきに非ず、決定的の勝利は、一部分の攻勢成功の綜合に在りと云ふ。而して獨軍の後期は、軍の中央突破を試み、乾坤一擲の勝敗を決せしに非ずや、此の道は大に疑はし。○獨軍は[illegible]心し、[illegible]中たりと定めて、東面人類の敵的のもの也なれん。

十一月一日發行

[illegible]

◆昌德宮典膳所の外觀

●昌德宮のお臺所（一）

李王職では『典膳所』と呼ぶ

內主膳所と外主膳所と西洋料理所と

兩殿下の進供は內主膳所で

大造殿が炎上する迄は此中にあつた

昌德宮の一 典禮く平和な月日を送つて居られる

李王殿下が日毎に召し上る御食事は一體什麽ものであらう？——何しろ前後五百年の間日星の如く韓半島に光被した李朝の裔主、珠簾丹碧の裡如何なる榮華もお望み次第と云ふのだから、定めし其御食事の如きも所謂山海の珍味積んで山を爲すであらう、とは誰しも想像するところであるが、去らば殿下並に妃殿下が如何なる進供を召し上るか又其進供は何處で什麽して調理されるか、更に又其調理の材料は何處から集るか——恁麼ことを知つて居るものは餘り澤山はなからう、固より

俗世一 間と一 懸け離れた王者の御所謂りに立入ることが出來ぬ上事苟くも御暮し向きに關することだから判らぬのは當然だが、判らぬ丈に一層其眞相を知り度いのは人情、王者の御暮し向きを知つたと格別眞似の出來る譯ではなし、何んにもならぬと云つて了へば夫迄だけれど若し之を通して五百年の歷史が生んだ王家の舊き傳統を知り、平和な礎の上に立つ王家の御繁榮を拜することが出來るとすれば決して無益なことではなからうと思ふ記者が『昌德宮のお臺所』を書く所以も亦決して單なる好奇心からばかりではない、李王家の御暮し向きの一端を紹介すると共に多少共王家の

精華一 の存一 する處を傳へんが爲めである、除別順序次第を立てず唯雜然と敘說し去る心算であるが夫でも尙本題に入る前、是非共記しておかねばならぬのは所謂『昌德宮のお臺所』なるもの、組織制度である、爰には通俗に從つて特にお臺所としておいたが李王職では決して斯うは言はない『典膳所』と言つて居る、此典膳所は內主膳所、外主膳所、西洋料理所の三つに分れ、內主膳所は西洋料理を除いて專ら兩殿下への進供を調理する所である、今は兩殿下共樂善齋に起臥して居らるるので其御居間の近くへ特に臨時內主膳所を新設せられたが例の

大造殿が一 炎上する迄は此中に在つた外主膳所と西洋料理所は富貴の花咲く仁政殿の眞後に方り外主膳所は主として近侍の內人（女官）營侍、御附武官、宿直の人々、其他參殿者の膳部を調べる所である、兩殿下とも平素は朝鮮料理であるが時には西洋料理を御賞味になることもあり、又多人數御饗宴の際には多く西洋料理であるから斯麽場合には西洋料理所のコックが腕を揮ふのである、先日東伏見宮殿下を御招待遊ばされた時の如き洋式の御食卓であつた爲め、料理は皆此西洋料理所から調進したが、尙此時は王殿下の思召に依り特に內主膳所で出來た朝鮮料理を御目に懸けられた相な。

●山野の藥草調査をもする

＝中央試驗所の藥草園＝

朝鮮は古來藥草園と言はれる程に藥草が多い

◇試驗して民間に獎勵する

中央試驗所にて藥草園を經營する事は既報の如くなるが其後聞く處によれば右經費は約八千圓にて朝鮮、內地產の藥草は勿論遠く外國よりも種子を購入して栽培すべく既に其用地の買收を終り同時に適當の物色中なりし專任の理學者亦決定したるを以つて遠からず其

◇**栽培に** 着手すべしと云ふ右につき當初藥草園の設置を献策し計畫の要機に參與したる總督府醫院吉木藥劑官は語つて曰く『從來京城では總督府醫院と中央試驗所其他では水原と大邱の模範場で試驗的に極めて小規模に藥草を栽培して居たが其結果が非常に

◇**面白い** ので今度之れを擴張する事にしたのである少し大規模に栽培して見て夫で結果が面白いやうならドシ〳〵民間に獎勵する方針であるが藥草園としての仕事は斯うして定り切つたものを試驗する許りではない鮮內各地に亘つて藥草調査を開始し有用なものは夫々

◇**增殖を** 圖るなども主なる事業の一つである一體朝鮮は古來藥草國と言はれる位諸種の藥草に豐富で一時は日本支那へ盛んに輸出したものであるが永い間の秕政は遂に山野を驅つて荒廢に歸せしめ延いて藥草類も次第に影を絕つに至つた今日

◇**ド丿位** の種類が殘つて居るか判らぬが實際に調査したならば或は今日世に現はれて居るもの以外にまだ〳〵珍貴な藥草がありはしまいかと思はれる之等を發見して其增殖を圖り彼是相俟つて藥草の栽培が盛んになり更に此藥草を原料とする製藥事業が勃興するやうになれば夫れこそ非常なる

◇**國富と** 言はねばならぬ』藥草は

ヤマヂソ、サルアイア、英國薄荷、獨逸薄荷、伊吹麝香草、ローマカミツレ、カミツレ、黃連、ノコギリ草、立麝香草、茴香、アルテア北海道歸退草、イリス、ロベリア、ヘンルーダ、サイハイラン、コルヒクム、大黃、サボン草、ハマナス、白芷、カルドベチ、ザクト草ヂギタリス、除蟲菊、アメリカアリタ草の

◇**廿五種** にして就中アメリカアリタ草（十二指腸虫の驅除に必要なるネマトールの原料）ヤマヂソ（病虫驅除チモールの原料）などは其栽培成績が最も面白い相である

●賞典祿千百萬圓請求

◇淺野侯を訴ふ

廣島市伊毛泰太郎氏外四名は舊藩主淺野侯の領民千六百餘名を代表し淺野家を對手取り千百二十萬圓の賞典祿分與請求訴訟を提起す可く高松の中村及び小川辯護士に依賴せり（廣島電報）

●相生丸屍體搜索

既報遭難沈沒したる第四相生丸屍體搜索のため潛水夫五分間交代にて從事しつゝあり同船長は目下取調を受け居れり（松山電報）

●新らしき教育の普及を……

八日の琿春視察團

高普と中央試驗所參觀

琿春視察團一行は八日午前九時高等普通學校にて各教室を參觀したる後附屬普通學校に赴きたり同校にては一行の爲めに特に

◆◆**學藝會** を催したるがいたいけなる兒童が國語の唱歌を歌ひ規律整然たる體操をなすを見て何れも新しき教育法の必要を感じ琿春朝鮮人民會長金明浩氏は『琿春には三萬の朝鮮人が居住して居る程であるから支那の學校に於ては約六割以上を

◆◆**朝鮮側** の兒童で占めて居るが日本領事館の經營に係る普通學校には在籍僅かに三十二名通學生は十八名に過ぎぬのであるから多數の子弟は支那の舊式の教育を受けて居るが今度京城に來て各學校を參觀するに及んで始めて教育は時勢に伴はねば民度の

◆◆**向上を** 圖る事は出來ぬと言ふ事を痛切に感じた、殊に新式の教育に於ては婦女子に家庭で敎へるよりも實益な家事上の教育を施したり都會の生徒に農事智識を授けて居る點の如きは我々の最も注意せねばならぬ事である

◆◆**琿春に** 歸つたならば朝鮮に於ける教育上の施設以上に育英事業を興して見たいと思つてる』と感想談を述べたるが同氏は琿春に於ける大の親日派にして日本語の研究に熱心なれば將來は日本に於ける新しき教育法の普及に努力するに至る可しと引率者は何れも喜び居たりそれより中央試驗所訪問直ちに食堂に導かれて

◆**午餐の** 饗應を受けたるが同所醸造の杏酒には何れも舌鼓を打ち豐永博士に對して一々說明を求め醸造法を研究して琿春に於て販賣せば儲かるならんと商賣氣を出し、之も同所の發明に係る牛毛織の洋服を著したる所員を見て『ハイカラ〳〵』と口々に囁やき合ひ間島には牛毛が多いから

◆◆**牛毛織** の製織法を普及せば安價の防寒服が得らるゝ理なりとて博士に對して如才無く質問するなど產業上の事に就ては大分注意を拂ひ居る模樣なり午餐後職員の案內にて試驗所の製作に係る製品を觀覽したり

●朝鮮の古風俗研究の爲

小堀鞆音畫伯談

妓生の舞踊は雅樂によく似てゐる

帝室技藝員にて本邦歷史畫の泰斗として知られたる小堀鞆音畫伯は朝鮮に於ける古風俗研究の爲め過般入京し大田天洋氏の案內にて視察中なるが氏は談る『朝鮮は始めてゞ色々珍しい物を見ました

◻**朝鮮人の服裝など** は實にいゝ處があります頭に麥稈帽が蔵つたりして段々此雅致のある風俗が壞れて行くのは惜しいものです』と昨日妓生の舞踊を見ては『妓生の舞踊は宮中に行はれる日本の雅樂によく似て居ると思ふ、手の振り方足の運び方

◻**それに合せる樂器** の打方迄よく似て居ます柳花苑の舞その儘のものも見ました、日本の音樂は朝鮮から傳はつて來たもので此方で專ら見ました、日本で偉人の家柄によく『彥』とか云ふ樣な一字名の姓が多いのも先祖が朝鮮から來た者だからです、朝鮮では現今でも

◻**穴居生活の樣な** 土幕と稱するものゝあるのを見ましたが日本にもあります日本にあるのは神功皇后が三韓征伐の際連れて歸つた朝鮮人に一部落を造らせて住はせたのがやはり土幕の樣な生活をしてゐます』畫伯は尙數日間京城に滯在朝鮮古代の服裝等に就ても觀たいと語り居れり

●大阪鷗町心中

大阪南區鷗町田中朝松(二)は六日夜十時肉切庖丁にて內緣の妻西花(三)の右胸部を突き已れも割腹し兩名共危篤なり（大阪特電）

夏場所大相撲懸賞

東京大相撲夏場所は十日より開場に付き好取組十番を選び勝負豫想を募集す

琴ケ浦（矢筈山）清瀨川（錦島）黑瀨川
御西山（福柳）大門岩（兩國）常の花
三杉磯（大鳴門）千葉崎（朝潮）鳳
源氏山（對馬洋）大錦（九州山）栃木山

右十組の取組みはがきに認め勝力士の肩に〇、引分に×、預りは△を附す事▲勝負は十日打出しの後締切とし最も多く的中したる者より順次等級を附し賞品を呈す但し同點者多數の時は抽籤に據り右十組の中取組合せなき時は其れを除去して計算す▲〆切は五月十日最終便の印刷あるもの▲はがきの表面には必らず京城太平町京城日報社相撲懸賞係と明記する事（當選者多數の場合は抽籤にて定む）

賞品 △一等一人 銀側懷中時計一個 △二等二人 上等置時計一個 △三等三人 上等反物二反 △四等十五人 上等卷煙草一函 △五等三十人 ボール紙袋一個宛

●黃澗隧道崩壞續報

竪坑を掘り救助中

既報京釜線改修工事中の黃澗隧道崩壞の續報によるに今回の崩壞箇所は西口より約二百呎內外の地點にて假に百呎の崩壞と見るも崩壞箇所より作業場迄の空隙は約七百呎以上の見込みなれば坑內に於ける作業坑夫は土石の下敷となり居ることなかるべきも何分

▼**崩壞の土石** を坑口より排除せん事は頗る困難にして到底急速の間に處し難きをもつて鐵道係員及び會社當事者協議の上西口より約三百呎の處に竪坑を穿ち所謂井戶型に天井を掘り下げ工事中なるが天井より坑道迄垂下約三十八呎の豫定にて七日午後三時頃まで二十七呎を掘鑿し居れるを以て剩す處は約十呎前後なるべし此

▼**一大椿事は** 同坑內に同じく作業中なりし一鮮人が水汲みの爲め出坑し將に坑口を出でんとする際一大音響と共に俄然崩壞したる爲め急を請負者の事務所に急報したるも當時會社黃澗出張所主任田中仙太郞氏は京城出張不在中のことゝて救助の方針確定せず尙黃澗憲兵出張所も翌七日午前八時漸く届出をなしたる始末なりといふ今被害者の判明したるものを擧ぐれば左の如し

小田原茂六郎、藤本嶋四郎▲吳胜三▲朴…回▲趙面錫▲宋致淳▲朴西和▲李化明▲李仲元▲崔吉文▲朴來太▲除成國▲張朱完▲朴在敵▲崔尙五▲李公武▲呂九鎭▲完元一

●十六棟全燒

黃海道鳳山郡沙院面新院里趙昌杰方より二日午後一時半頃發火し折柄の烈風に忽ち部落に延燒して午後五時頃鎭火せり損害全燒して六戶十六棟を全燒したる原因は昌杰が便所內にて煙草を喫したる燐寸の火より發火したるものなりと

●詐欺

京城笠井町居住篠崎好備(三一)は大正五年中黃金町二丁目韓在根よりミシン機械一臺(六十圓)を月賦購買の中他に入質したるを手初めに外數箇所より前後十六回詐欺を働きたること發覺し鍾路署に逮捕さる

●遊興傭夫

秋田縣雄勝郡小野村生れの齋藤正次郎(二八)栃木縣河內郡平石村生れ菊池武(二二)の兩名は京城にて車夫稼ぎ中他の傭人より傭一臺を横領入質したるを手初めに外數箇所より詐欺を働き新町遊廓にて遊興消費し兩名共本町署に逮捕さる

灯もと唄

女夫公方さ題して紹介したおマキさんは今のところ京城一の大家であるが、之と好一對の嬶大家が新町にも居る▲代用教師の親父が即ち夫で付けやうもあらうに大層な名をつけて下にも置かぬ可愛がつて居る▲所が此チョンゴシ君もチョンゴシならずで或る晩御入來の嬶君に吼り付いたワン〳〵〳〵最一つおまけにワン〳〵▲直通所んな者は犬にふまいが兎に角嬶君が通へてマゴ〳〵して居るのに見るに見兼ねて『何んて惡い犬だらう寮嬶が開で馴染の一朗姉が宥める者がない▲非常な立腹▲暫くすると之を親父が帳場で聞いて『ー』と叱つたところ女の前に突出した値一杯の頭つて居る莊女を呼び付け膝下りに啖へて首り切つて何も云はず何が彼やら睨張り判らぬ居ると云ふ有樣▲女は何が彼やら睨張り判らぬ唯親父の素振りで尋常事でないと思つたので恐る〳〵『親方何の御用で——』と訊くと▲親父は待つて居ましたとばかり始めて口を利き『何の御用も蒸もあるか好く胸に手を置いて考へて見ろ▲貴樣は今大切なチョンゴシの惡口を云うたぢやないか其んな奴は一刻も自家には置けぬ此證文は貴樣に呉れてやるからトット出て行けつ！』と頭から湯氣を立てると云ふ騷ぎ▲女は始めて合點が承知し泣いて詫びたけれど卸々肯いて呉れぬ一同が仲に這入つて賴み入つた

商況

兵庫期米

八日前場 寄付 二十七圓二十三錢 二番 二十七圓二十三錢 三番 二十七圓二十九錢

東京期米特電

八日前場 寄付 二十七圓四十六錢

大阪株式特電

八日前場

鐘紡	寄付	新
東株		
大阪商船		
日本郵船		
日清汽船		
大阪電燈		
宇治川電		
京阪電鐵		
東京株式		

大阪三品特電

八日前場 五月限 六月限 七月限 八月限 九月限 十月限

大阪期米特電

八日前場 寄付 二十七圓 六十錢

下關期米特電

八日前場 當限 先限

雜報

●三品小高し 大阪三品は當限三百二十三圓九十錢先二十九圓七十錢より前場...

●入電一二三圓の高

●正米强氣持合

●勢高きの循環的氣

●辛く持合へ

●砂糖氣迷ふ

●聯か軟味

●多少厭氣を催

●出禁止の入電 爪哇糖輸の傾き

●染料は好調

下關相場

南大門の廻穀

仁川正米

釜山穀物(七日)

生魚市場

●澤庵次第高

●白米更に小縮る

●引締り更に十錢方

●値段次第に原料物

●賣行き增加

●勢ひ品質の低下

●餘儀なく

仁川期米

八日前場(新高値)

▲第一節 寄付二十三圓十錢先二十三圓十錢

▲第二節 大阪前寄二十七圓十六錢と昨止より六錢安

▲第三節 當四十四錢六十錢と暴騰

▲第四節 直に暴騰し二十錢と新高

▲第五節 遂に二十錢と新高 下澁り强硬

成行を示し

●期米暴騰す

●絕好の押目

●入電を齋し一齊に安

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店

仁川米豆取引所仲買人 今村寬次郞

仁川米豆取引所

八日の七月限

市場雜觀

●內地市場の成行

●反し

●各店に買物多

●强氣筋の買に煽

●遂に二十錢と新高

●强氣大手筋は巧に盤廻的商內を敢行

●致し硬派の買捲

●一部の煎れを招

ミラの秘密 京日讀者優待割引券 活動寫眞黃金館 日時五月八、九兩日午後六時半開場 京城日報社

文藝 課題及募集規定

晴れ一時曇

●朝鮮葉煙草と米支
仁川を經て輸出せらるゝに至らん

年を追うて其の販路を擴大し支那或ひは米國等漸次需要を增加しつゝある朝鮮産葉煙草は這次の戰亂に際會し更らに其の商圏の伸張を圖るの機會に到達し最近著しく之が耕作の有利なるを認めらるゝに到れり而して一方當局は勉めて内地種の栽培を獎勵したる結果斯業の發達改良亦大に見るべきものあり現在にては戰亂に基因して外國煙草の輸入著しく減少せるが爲め内地に於ける煙草の需用は全部内地産を以て之れに充當せざるべからざるに到り而も其の生産量は遠く國内の需用を充たす能はざるの狀況にありて生産の揃底を生ずる結果從來内地より朝鮮に輸入し來りたる内地産煙草は到底今日にては鮮内の需要に應ずる能はざるのみならず或は却て

朝鮮産葉煙草を 内地に輸出し内地の生産不足

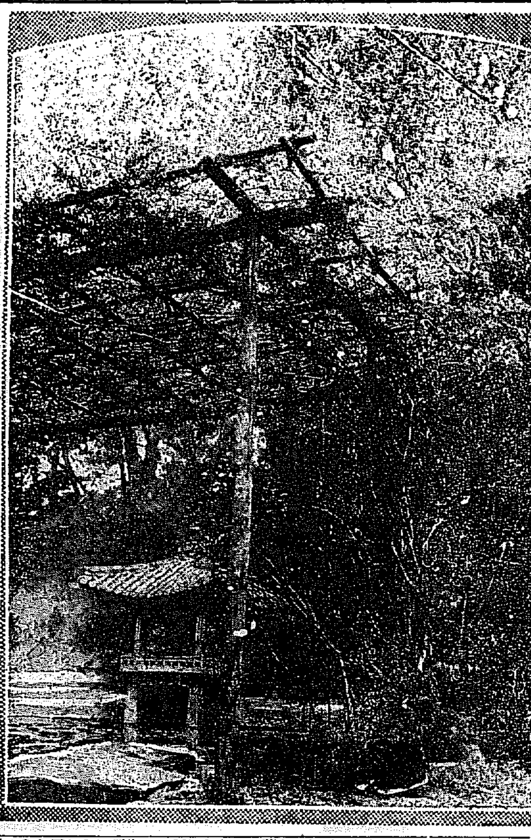
を補はざるべからざるの有樣に在りと斯の如きを以て鮮内に於ける内地種煙草の耕作は最も有望なるものとなり漸次又支那大陸及び米國等へも之が需要を喚起し日に騰價を高めつゝあり當局に於ても夙に之が耕作に就ては獎勵を爲し來れるが今回更らに煙草の産地として最も好適せる慶尙南北兩道に於て之が指導監督を爲す事となれり而して其の組合の耕作反別は約七百町歩に亙り之が年生産數量は凡そ四十萬貫の多きに達する見込みなるが其の生産品の販路に就て聞くに總數量の約三分の一は支那及び米國に向つて輸出すべく殘餘の分は鮮内其他にて消費せらるゝものなりと而して右組合の生産品は當局の斡旋に依り

全部仁川の英商

ベンチツト氏に依りて一手に引受け輸出販賣を爲すべく既に契約成立し契約保證金として其の特約總額の幾分たる數萬圓の資金を該組合に提供したりと之れが爲め耕作者は耕作資金の調達に苦慮する要なく而も其の生産品の販賣に就ては一定の協約價額にて之が取引契約ある等に依り頗る有利にして且つ其の業に安んずるを得るに到り斯業發達の爲め最も慶賀すべき事なりと當業者は語れり尙ほ過般米國の輸入制限を爲したる主旨に依り其項中四月廿二日附にて

葉煙草輸入制限 の發表ありたるに對し世人

或は之を輸入禁止と解釋し朝鮮に於ける煙草耕作の一頓挫の如く見做したる者あるやに聞くも右は全く輸入制限にして唯從來よりも多少の手續き煩雜と爲れるに過ぎず之が爲斯業の前途を憂慮せらるゝ樣の事は萬々あるべき筈なし（仁川）



♣咲き出した藤の花

楔が散つてライラツクの花が盛りを過ぎると間もなく春と夏の腰ぎのやうにゆかりの色の藤が咲く色から形から海軍士官のエポレツト其儘の優しい姿をうつとりと水に落して空も水も瑠璃に霞むすが〳〵しい風情は春秋の初夏を彩る唯一の眺めである、（寫眞は秘苑の□）

◎大正水利竣工式

京城不二興業の計畫になる大正水利組合の大工事は昨年十一月の候を以て芽出度竣工式を擧行すべき迄になりたる時試驗的通水を行ひたる際不幸批硯驛附近のサイホンに缺所を生じ遂に今日に遷延したるが愈々該復舊工事も此の程竣工し通水の結果も良好なるを以て本月中旬を期し盛んなる竣工式を擧行すべき豫定なりと（安東縣）

◎這便利なる機關を何故利用せざるか
滿洲に商品を賣擴むべき長春商品陳列館

滿鐵會社の經營に成る長春商品陳列所は一昨年一月十五日の開設にかゝり爾來相當の効果を收め昨年十一月長春驛長の支配下より分離獨立し滿鐵地方課の監理となり長春地方事務所の所管に移され近く東公園に建設さるべき大典記念公會堂竣成と共に其の樓上に移轉し大に擴張すべき筈なるが近來支那商人及び邦商間に其の利便を認められ之れを利用せんとするもの漸く多きを加ふるに至りしが滿鮮にある邦人實業家にして未だ之れを活用するもの殆んど無きは實に遺憾に堪へず由來同所は其の販路を擴張するが目的として滿鐵は年々多額の經費を吝まず

◆日本製品を支那人に紹介し◆

て無料を以て取扱ひ其間一錢の手數料をも徵收せず殊に出品物に對しては船車運賃及び關稅等も免除せられ出品に就ても料金を要せざるは勿論期間滿了後は返送するとも或は競賣するとも出品人の便宜に從ひ處理し徹頭徹尾依頼者の便宜を計るものにして現在は百四十種の出品あるも殆んど内地よりの出品物のみにて滿鮮殊に朝鮮よりは未だ一品の出品をも見ざる有樣なり同所の大正六年度賣買仲介は約六萬圓にして

◆讓渡製品最上位を占め皮革◆

製品陶磁器、花莚、洋傘、帽子、硝子製品等種類多數あり是等の需要者は長春及び吉林、哈爾賓方面の支那人に多く露人も往々あり昨年五月には彼等より註文を受けしもの三十二件に上り十月の如き讓渡製品のみにて一口四千六百八十圓の仲介をなしたり同所の仲介による供給者の多くは東京神戶及び大阪地方の商人のみにして近來は此の地方の有望なるを感じ非常の注意を拂ふに至り殊に讓渡及び皮革製品業者にして之れが調査を依頼し來るもの及び實地視察のため長春に來る有力なる事業家亦甚だ多し最近に於ては二月末北海道より鮭及び鱒二千七百斤の仲介依頼ありたり然れど昨年長春

◆支那人より鮮卵一萬グロス◆

脫脂綿十萬グロスの註文仲介を依頼し來りしも邦商に於て製造能力薄弱なる故に時日を要するとて拒絶し商談成立せざりし爲め該支那人は他の方面より供給を受けし事あり同所は出品者に對して成るべく紹介の勞を取る方針なれば一人にても多數の出品を希望し各方面特に鮮滿に向つては種々の方法を以て之れが勸誘に努め居れるが未だ其の効果なきは同所の事情を深く究めず同所の手を經れば利益の幾分にても割かるゝが如く

◆曲解し居るものもあるべく◆

又同所が即賣の取扱を爲さゞる爲め直接出品者に其の利益の判明せざるにも基因するならんが同所も公會堂樓上に移轉の上は即賣をもなす筈なれば其上は漸次利用さるゝに至るべきも内地の商人はらず鮮滿實業家の未だ放任せるは大に省慮すべき事なり尙農商務省にては哈爾賓に一大商品陳列館を設け日本製品の擴張を圖らんとて過般來調査中なりしが愈々確定近く實現を見るべしと（奉天）

◎三道共進會

去る四日平壤商業會議所に於て評議員會を開催し席上内田評議員より提議に係りし平南北及び黃海三道の物産共進會を平壤に開催すべき件に就て協議したることは既報の如くなるが該調査委員七名は六日午後四時より商業會議所に集合委員會を開き先づ委員長の選擧を行ひ内田議員委員長に當選し夫れより協議事項として七日午前十時より委員全部は久納書記長と共に先づ道當局を訪問し共進會開催に關する道の意嚮を伺ひ其結果具體的成案を建て諸方面に運動を開始すべく之に就ては鮮人議員側も双手を擧げて贊成の意を表し居れりと（平壤）

◎森林帶踏査
◆鴨綠江運輸と東洋燐寸◆

安東高羽秀吉氏個人の經營に拘はる鴨江運輸司所は時勢の進運に伴ひ其の規模の擴張と諸設備の整頓等の要あるを認め嚢に神戶鈴木商店との間に交渉成り三月中に資本金十萬圓の株式組織に變更したるが出の際會社定款内には單に鴨綠江のみの運輸事業以外に其の他の運輸倉庫事業等を加へ大に奥地の開發に努力すべき計畫を樹て事業著々進捗し來りたる時鈴木商店出張所も安東縣に開設を見るべく既に其の開店の期も愛兩三日の間に迫る等準備漸く整ひたるを以て此の際奥地方面視察の要あるを認めたるを以て一兩日内に運輸會社專務高羽秀吉氏は出發上流に向ふべき豫定なり尙ほ東洋燐寸會社にても豫ねてより安東縣滿鐵附屬地内六道溝に分工場を設置し專ら軸木製造を開始すべく工事を著々進めつゝありし由は既報の如くなるが元來鴨江材中燐寸軸木に適應すべき材即ち泥柳及び白楊樹に對する調査の從來等閑に附せられ居たるを以て愈々幾何の材積を有するや不明なるを以て斯業者は大膽に於て有望なりとは認識しながら尙ほ其の間若干の不安を免れざりしを以て此際上流森林帶に於ける該樹の材積調査をなすべく前記高羽運輸專務の踏査に際し東洋燐寸會社にても技術員を同行せしむべしと（安東縣）

◎安州の商人
◆風變りの活動振り◆

新安州价川間の三井輕鐵敷設により奥地方との交通運搬甚しく影響を受け安州邑内は一時寂寞を感じたるも安滿道路完成以來幾分回復の狀況を呈し昔日の如き殷賑は見られざるも人馬の交通貨物の出入目今相當に繁昌しつゝあり商人にも比較的大規模のものあり平北各地に亘りて行商を派し一方安州には堂々たる本店を構へて營業し居るものあり或は露貨の下落を機とし一攫萬金を夢想し遠く奉天方面に至り之が賣買をなし中には莫大の損失を招きたるものゝ等あるも其營業振り大膽に且つ敏捷にして平安道の一中心地たるに耻ぢざるものあり望むらくは爾今市中の設備を改革し極力市街の淸潔を期すべく當局に於て意を用ひ其發展を顯著ならしめん事を望むと（平壤）

◎牛價暴騰す

例年春季農耕期に入れば生牛の需要增加するより價格向上は恒例とせるも本年は平安道に於て一層此傾向著しく上等牛にて牡七十五圓牝五十五圓内外なりしもの三月に入りては五圓内外を騰貴し牡八十圓牝六十三圓となり更に四月は一躍二十圓を暴騰し牡百二十圓牝八十圓内外を唱ふるに至り未曾有の高價を示せるが之が原因は農繁期に入り需要增加の外内地移出の途開けたると一面某方面に於ける牛肉需要の增進せられしとに因るものなりといふ（平壤）

◎楓葉を原料に高貴の染料製造
◆愈々大規模に製出◆

營口寺尾氏等の計畫によるシンナムと稱する楓葉を原料として貴重なる黑色染料を造るべき新義州の染料製造事業は爾來準備全く整ひたるを以て此の程愈々工事に着手したるが其の位置は鐵道の下手鴨綠江に沿ひたる平地にして目下盛んに地揚工事に努めつゝあるが本年内には建築全部を了るのみならず若干の製品を搬出すべき計畫にして其の資本金の如きも工場及び倉庫建築等に約三萬圓製造機械購入據著費等に約五萬圓及び運用資金等に二萬圓餘を要する由なるが

◆元來本事業は極めて有望なる上◆

目下の時期は極めて緊要なる際なれば一日も速かに其の製品を市場に上すの必要あるを以て現在個人經營の如き形式を以て事業の進捗を計りつゝあれど一般豫定事業の完了を俟つて更らに會社組織に變更さるゝものにはあらずやと觀測されつゝあり。因に該事業は

◆中央試驗所長豐永博士の設計を◆

基礎として計畫されたるものにして其の原料楓葉の如きは平北のみにて優に六百萬斤を下らざる由なれば事業の進捗擴張を要する場合と雖も原料に不足を告ぐる事萬無かるべく兎に角に其の將來に矚目されつゝあり（安東縣）

各地の養蠶
平南の增收額（平壤）

平南に於ける本年春期掃立蠶卵紙數は七萬五千枚位の豫定にて昨年春期掃立總數六萬六千枚に比し九千枚の增加を示し既に掃立てたる春蠶は確實に五萬五千枚に達すべく是亦昨年春蠶の四萬四千枚に比すれば一萬一千枚の增加となるべく夏秋蠶に至りては猶未定なるも本年の總收穫は優に昨年の總收穫より二千石位の增收なるべしと道當局は語れり

▲八日後場

大阪前止め二十六圓六十九錢後寄未ゝにて中限二十二圓六十五錢より外の大池瀾裡に散會せり

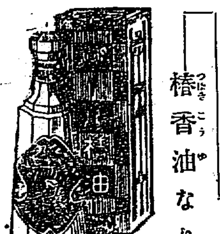
[illegible] し三節大阪後寄七十六錢 [illegible] 一錢と大崩れを報じ更に三十八錢と慘憺たる相場を演じ後一旦六十二圓九十八錢と反撥せしも結局四十八錢と意 [illegible]

[illegible] 錢二十二圓九錢二十三圓二十錢三錢三十九錢八錢四十三錢 [illegible]
錢七錢六錢五錢四錢二錢三錢一錢八錢五十錢八錢五十錢四十八錢
三錢九十錢二錢九十錢二錢一錢三五十二錢六十錢五十九錢五錢七錢

毛髮の營養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として内外の需要頗る旺盛なり

パール煉香油　パールポマード　パール椿香油

化粧化學を應用し絕對的黑色養毛に適し實に遺憾なき……現代理想の―椿香油なり



關西代理店 大阪 平尾レート　本舗 東京 平尾パール

胃腸新薬

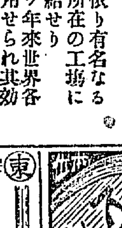
タカヂアスターゼは高峰博士發見の方式に據り本會社工場に於て製出せるものにして胃腸疾患に對する唯一の特効劑なり
外國に在りては同一の方式に依り有名なるパークデビス社が北米及英國所在の工場に於て製造し歐米各國に之を供給せり
タカヂアスターゼは已に十數ヶ年來世界各國の醫學者に依り實驗的に使用せられ其効力を確認せられたるものなり
醫藥としての最大要素は多數醫學者の實驗成績が効用の論理と合致し使用者をして何等の顧念を挿むの要なからしむる者なるに在り
本劑の聲價嘖々として世に高きを羨み族出せる類似模造品あれども其品質其効力素より同一視する價値あるものにあらず、醫學者實驗報告集無代郵呈す

東京室町　三共株式會社

好評嘖々!なる携帶用
商工業者の羅針盤
大阪仕入案内
仕入商人の好伴侶
第十一年九月號出づ
▣大阪仕入案内 ▲每月一回發行 定價一部十五錢（稅共） 一年分前金一圓八十五錢
▲本紙には確實なる現金問屋の物價を調査せり
大阪物價新聞（織物號）（每月二回發行） 一年分前金六十錢 稅共
大阪唐物町一丁目 大阪仕入案内社 振替大阪一四三六七番 電話東一八五二番

支配人
心得採用◎多く知人と信用を有する活動家成績に依り一ヶ月にて支配人に登用月給百圓迄支給（日用品直賣供給事業）希望者返券入申込次第詳細報す◦東京本郷區湯島天神町一ノ五 法人組織東京日用雜貨製造組合直賣部
不用實 各地代理店

每夕一杯の
赤玉ポートワイン
一日の疲勞を回復す!!
美味滋養の葡萄酒



外科花柳病
内科婦人病
入院隨意
醫學士 齋□勇
醫士 齋藤豐次
京城本町五丁目稲荷座前
大和病院
電話二〇二二番

昔も今も
効能で賣れる
ひゑるもり
通じを引下げ便通をよくし梅毒其他諸毒を下す
大日本大阪高津
電話南七三九 振替大阪九七三□
本家 ひゑるもり 伊藤長兵衛

母キス儀病氣の處療養相叶はず昨五日午後十時京城に於て死去致候間生前の厚誼を謝し此段辱知諸氏に謹告候
大正七年五月
男 森 我一
親戚總代 辻 □□廣
久島 亮
矢□ 音次
田中 半二郎
友人 坂口 喜助
魚谷 與藏
總代 金衡 玉
鹽津留 止

高の道しるべ

酒精、燒酎
西貢米
砂糖麥粉
釜山

雜貨問屋
明治屋本店
釜山大廳町

洋酒罐詰糖粉卸商
釜山 やまづみ

肥料
マルカク商店
釜山驛前
電話

釜山商店案内
乾物糖粉煙草雜貨卸問屋
釜山 山西商店

汽車時間

京釜線(南行)　(北行)　京釜連絡　湖南線(南行)　(北行)　京元線　京仁線　[illegible]

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第六十九席

塚原小太郎、藤田權頭、鬼小島彌太郎、鐵上野介の四人は此所を出立して越後を差して參りましたが、此の鬼小島、鐵が何で此所へ來たといふに、之は條て謙信公の吩咐で敵國の樣子を採ります。今日でいへば間諜で、兩人は敵國の樣子を採りて諸國の途中、小太郎勝義に遇ひまして、權頭の話しを聞き、小太郎と共に之へ參りましたので、扨四人は道を急いで參りました、丁度下諏訪の此方何時道を踏違へたか山中へ迷ひ込んだ。モー今に日が暮れようといふ時分、流石の豪傑だが腹は空て來るし日は暮れる、野宿は困る獵師家でも炭燒小屋でも構はんが、一處か夜露を凌ぐ所はないかと、四邊を見ながら段々やつて來ると、彼方に一軒の荒寺がございます。一同大きに喜んで勇氣を恢復いたし來て見ると、門は傾き本堂も處は腐つて框が現はれて居るといふ、餘程荒れ果てたる古寺、併し人は居りまする樣子、玄關めいた所に來て彌『賴む、賴む』○『ドレ』と出て來たのは肥つた身の丈拔群に勝れ目付の恐な奴、四人の姿をヂロ〳〵見廻して○『お前方は何處から參つた……』彌『我々は道に迷つて斯樣な所へ參つた、身體勞れ且日暮れで如何とも致方がない、何うか一ツ本堂の隅へなりとも泊めて貰ひたい、如何でござらう』○『ア、さうか、然んな事だらうと思つた、能く氣を付けぬと飛んだ道を損をして、イヤどうも取返しのつかぬ難儀をするが、夫はお困りだらう、サア〳〵遠慮はないから上んな、其代りモー此んな山の中、見なる通りの荒寺だ、何にも碌な喰物はない、併しマア〳〵空腹思ひをするより增した』彌『夫は千萬忝けない、大きに我々も安心いたした』と草鞋を解いて上へトる、以前の坊主は其へ來て 坊『サア〳〵道中をござつて草臥なすつたらう、樂に居なさるが宜い、見なさる通り當山も荒果てゝ了つて、住持も何もない、私が此のマア村の者に賴まれて、此寺の留守居をして居る次第で、どうか丹精して再建をしようと、種々氣を揉んで居る所、生憎皆出拂つて私一人、今に所化が歸つて來るが、私一人では何うする事も出來ん、構はんからお前達も遠慮なく飯櫃があるから出して喰つてお異んなさい、何うだい酒が好きならば村の者から貰つたのが少しばかりある、私も飲むがお前方も宜ければ飲むが宜い』と言ふと皆な酒好き 彌『夫は幸ひどうだい上野』上『結構〳〵』彌『然らば其の酒を一つ馳走にならう、其代り代價は澤山進せる』坊『そんな心配には及ばん、元々私が村の者から貰つたので、皆な飲んで了つても宜い』と坊主が鍋へ入れて出すを、彌太郎が火鉢へ掛けて燗をして、鬼小島、鐵の兩人、空腹其處へ一ぱい食む、どうも却々甘味い 彌『藤田氏、如何で一杯お飲んなすつては長の道中で嘸疲れたらう少し用ゐたら勇氣が恢復する』元々飲む口、然らばと三人頻りに飲んで居る、小太郎勝義は一滴も飲まない、といふのは何も和尚の樣子が通常の出家とは違ふ、骨太にして兩眼の光り鋭く、一癖有り氣に見えますから迂濶に酒を飲んで間違ひがあつてはならんと思ひ樣子を見て居ります。他の者は一向然んな事に氣が付かない途々三人で皆な飲んで了ひ、飯が濟むと彌『サア〳〵草臥たから早く本堂に行つて寢かな』彌『然らば御免』と一同本堂へ參りゴロリ〳〵と橫になると、彌太郎、上野介、藤田の三人は空腹の所へ十分酒を飲んだので前後も知らず寢て終ました

旅行中の處歸京從前の通り診療に從事致し候
內科 小兒科 女醫 川崎朋子
京城明治町二(電話長一五〇四番)

人參ミルクキヤラメル

五月十日 金曜 九星 [illegible]
舊四月朔日 丁巳
本命三碧東北佛滅
[illegible]

演藝案内

[illegible]

有樂館

東京小林商會滿鮮一手代理店 天活ユニヴアーサル會社特約 古川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(階上)五九七番(階下)二〇五番

▲當る五月九日より公開の特作映畫と大番組
▲滑稽喚天下 ユニヴアーサル週報四十九號
▲喜劇 自動車好き
▲大喜劇 デブの曲乘り『全二卷』
◯米國ユ社青鳥傑作品 ▲悲劇『空彈』全五卷
[illegible]
◯新派悲劇『鍾樓』全四卷
[illegible]

浪花館

明治町二丁目 電話二六〇番

◯五月二日より開演
△新講談 神田伯道氏來る
[illegible]
△講談 種々(三福亭千代子) △寛政力士傳、浦生家三勇士 軍事談(米村亭千) △壯士富田一郎、二へ探偵(東洋軒辰右衞門) △井上外務大臣遭難事件、露探の勝大尉傳(伯道)
[illegible]

壽座

京城壽町 電話五七八番

[illegible]

大正館

櫻井町 電話八七三

▲大活劇『コンクリン馳落』『全二卷』
▲新派悲劇『吉丁字』全三卷
◯冒險活劇『森の奇人』凡千呎
[illegible]

稻荷座

南山町五丁目 電話二參二八

[illegible]

黄金館

電話二六三七 二三六六

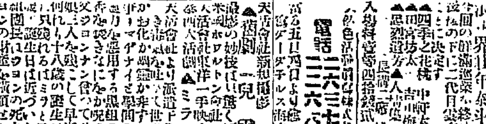
[illegible]

周易
明治町二丁目
介石堂
岡村介石

りん病
淋病で困る方切手三錢送れば自宅で秘密に治す妙藥を人助けに無代でお教へ致し升
名古屋市[illegible]

滋養強壯劑 レグモン
レグモンは京都帝大教授醫學博士[illegible]
[illegible]
定價 百五入 金壹圓貳拾錢 貳百五入 金貳圓貳拾錢 四百五十五入 金四圓五拾錢
詳細の說明書あり御呈す
賣藥元 大阪市道修町 武田長兵衞

贊化病院
京城明治町一丁目 電話二四番
內科 小兒科 入院隨意
毎日五名を限り無料施療す
醫學博士 古城憲治


最新流行 時間正確
一、變形新荷着(銀側ダバン十五石入)
一、楕圓形 腕環用(同 十五石入)
一、角切菱 腕環用(同 十五石入)
四角 腕環用
各金貳十七圓
一、同マーピン小判形 腕環用 金貳十二圓
送料(鮮內十二錢)(外三十錢)
▲金銀側時計御寄贈へ名入は勿論御注文に應じ精々安價調製可仕候
京城太平通 京城日報代理部 振替京城三〇〇

京城日報
第五版
五月九日朝刊
（朝夕刊を併せて八頁）

本紙定價　一部金二錢　一ヶ月金五十五錢　三ヶ月前金一圓六十錢
廣告料金　七字詰一行金八十錢
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
發行兼編輯人　與田直
印刷人　小川三之介
振替口座京城二〇〇番

獨逸和戰兩難

西部戰線に於ける敗退後の獨軍は、尙ほ依然として砲擊を繼續しつゝあるも、茲數日間、敢て肉彈攻擊に出でざるは、或は此敗退を期として、所謂第三次攻擊を中止せんとするにあるか。之をして第三次攻擊の終了となすも、必ずしも獨軍の攻勢斷念を意味するものなりとは云ふを得ざる也。何となれば獨軍は、尙ほ四十箇師團の總豫備隊を有するを以て、更らに四攻又五攻と、兵力の續かん限り、飽迄初一念を貫徹するに努力すべきやも計られず、然れども如何に獨軍たりとて最初豫期したる、聯合軍の中央突破、英軍壓迫全滅の如き、戰略上の根本目的を貫徹するは、到底望むべからざるを悟りしなるべし、而かも其の不可能を悟りつゝも、尙ほ且つ無謀の攻擊を續けんと欲する所以は、其の理由果して如何。

獨軍の首將中には、所謂之を獨逸軍人氣質と稱するやも知らねど無益の意地立てをなす者多く、彼の獨太子が、ヴェルダン要塞を陷落せんとして、驚く可き無謀なる片意地を發揮したる、西部戰線に於てはルーデンドルフ及びヒンデンブルグ等が、アミアン或はイープルを攻略せんとして、之れ亦無謀の意地を張り通さんとするは、獨逸軍人の通有性ならんも、而も彼等をして、今日の如く其意地を張らしむるを餘儀なくせしめ、殆ど望なき攻擊を、無益に持續せしめざるべからざるに至りたるは、卽ち獨逸内部の情勢並に、同盟與國の内情等の然らしむる處なるべく、而して之等の理由が、片意地軍人連をして、止なく大攻擊を急がしめ、而も其の狀況は、日に一層甚しきを加へつゝあるの觀あり。之等内部の壓迫は、世間に報せらるゝ處を、誇張的なりとするも、上下の窮迫、不安、國民の失望、怨嗟は、遂に掩ふべからざる事實にして、一般講和成立の速ならん事を熱望しつゝあるは疑ふ可らざる所なりと云ふ可く、過般頻りに羅馬法王の講和提議說が、獨逸側より喧傳せらるゝは、同盟國側の意の存する處を知るに足るべし。

然れ共其講和提議なるものが、果して如何のものたるかは、未だ知るを得ざれど、獨逸側の欲する講和は、獨軍が西部戰線に於て、聯合軍の死命を制し得たる後に非ずんば、決して到來する事は萬なかるべく、然も其は終に絕對不可能に屬せんとす。されば獨逸たるもの、其主張を貫徹せんと欲せば新作戰を試むるか、然らずんば他に必勝の途を講せざるべからず、然も最早八方閉塞せる獨逸は、更に新計畫の考案らるべくも非ず然らば無益なりとは知りつゝも、儀今日の無謀の攻擊にても繼續するに非ずんば、内部の破綻爆發が、獨逸に取りて一層恐るべきものあるは、明白なる事實たるを疑はざる也。是れ卽ち獨逸が、一方講和に戀々しつゝも、他に依然として無益なる攻擊を繼續しつゝある所以にして、今や獨逸は退いて和を講ぜんとするも能はず、さりとて進んで戰はんにも、勝算全く無く、今や將に進退、和戰の兩難に陷り、特々苦悶の裡にあり。獨逸は如何にして、此難局を切り脫けんとするか、其は頗る興味ある問題たり。

鮮滿在郷軍人會に望む（十）

帝國在郷軍人會理事　永沼中將談

京城分會の經濟狀態は思ふ樣で無く會費の徵收すらも完全に行かぬと云ふ事であるが、會員は一層努力しなければならぬと考へる。元來此の會は此方から頭を下げて補助して呉れの、世話して呉れのと言ふべきものでなく、先方から進んで來たならば有難く之を受けると云ふ立前であるから、先づ何よりも會員其の者が、世間の同情を博し得る丈けの

△立派な働を 爲なければならぬ。然るに自分達は花見に浮かれ步いて、世間の同情を得ようとするのは、無理だと思ふ。どうか在郷軍人各自相戒しめ相勵まして、軍人精神の訓練、軍事能力の增進と云ふ二大綱領の中に其の精神を發揮したいものである。朝鮮の各地に於ける分會の進步の遲々たるは制度上や其他色々の關係があつ、改善を要すべき事が尠からずあるかも知れない。併しながら要するに在郷軍人會は會であるから、會員が其の基礎を爲す譯である。現に今日斯様な講演會を催し得たのも會員が集つたからの事である。そこで會の發達は其の根本たる會員各自の自覺に俟たねばならぬ事になる。今や在郷軍人會の會員數は全國を通じて

△三百萬人に 達せんとして居る。此の外青年團の團員は百六十萬人を算し、此等が所謂國防の衝に當る。卽ち國家將來の運命を双肩に擔うて起つ人員の數が斯く優勢であり、是等が結束を固うし、如何に國民一般の士氣が頽廢するとも、其の頽廢の怒濤の中に捲き込まるゝ様なことの無い様にして行かねばならぬ。内地に於る在郷軍人會並に靑年團の狀況は大體前述の如き有様である。更に眼を轉じて一般社會の各方面を見渡すと、隨分憤慨に堪へぬことが多い。其の一部分は先般來新聞紙上に二號活字で盛んに書立てられたが、斯の如きは單に其一端が暴露せられたに過ぎないと思ふ。實に社會各方面に亙つて忌むべく、憎むべき事柄が多い樣である。

△今回の事件 等は丁度山の上から岩が出て居る樣なもので之を掘つたならば色々な物が出て來るであらう。近時我が社會の傾向に就いては種々憂ふべき點があるのである。我が帝國は聯合國に加はつて戰爭に參加して居る。既に一部分は戰爭に從事した譯であつて、戰時狀態であるから、普通ならば兵士が脫走を企てゝも六日間は陸軍刑法に觸れないが、今日は三日間で刑法に觸れる。斯かる戰時狀態であるにも拘らず戰爭の氣分は一つも漲つて居らない。國亂れて忠臣現はると言ふが、軍人會や青年團が近頃異常の發達を遂げつゝあるは、一面社會の面白からざる傾向の反映とも見られる。一般國民の有様を一言にして評すれば殆んど

△眞面目を缺いで居る。實業家も官吏も其他總ての方面を通じて上下眞面目を缺いで居ると言はねばならぬ。朝鮮には斯かる事が無いであらうが、内地は惡い風潮として、不眞面目と云ふ事が日に瞬く。眞面目と云ふ事は何を爲すにも頗る大切である。若しも社會の各方面が皆不眞面目であるならば國がどうなる。總ての事業はどうなる。言ふ迄もなく國は衰運に傾き事業は不振に陷る。此の時に方つて社會何れかの部分に比較的眞面目な分子が無いであらうかと見渡せば……自分は軍人であるが爲に觀察が偏すると言ふかも知れないが公平に見てどうしても夫れは軍事教育を受けた人間に多い樣である。又實際さうであるべき筈である。

渾春觀光團を迎へて

稗翁

○渾春觀光團を歡迎する爲めに今九日、京城官民慶會樓に於て、官民合同の大歡迎會が催されることになつたは喜ばしい。團員の大部分は、永く故國を離れて、異域に人となつたものである。在京の人士は、此機會に於て、誠心誠意、彼等をして朝鮮の現狀につき、遺憾なき了解をなさしむることに務めねばならぬ。

○この二十餘名の團員は、渾春方面に於ける、最も有力なる人士を網羅して居るのであるから、今回の視察によりて、得る所の感想如何は、渾春在留の一般鮮人に、その歸趨する所を指示するものと謂はねばならぬ。卽ち在京人士の一擧一動は、悉く彼等に深き印象を與へ、その印象は、軈て彼等の感想となつて、在渾十餘萬の鮮人に傳へらるゝであらう。

○吾人は、曩に京城日報及び每日申報の主催にて行はれた、九州觀光團を借りて所感の一端を述べて見よう。副團長であつた鄭寅復君は六日夜、團成社に於て催された每日申報社主催の通俗講演會に於て、其の感想を述べて曰く『予は數次内地に往來したが、今回の觀光のやうに愉快を覺えたことはなかつた。貴族觀光團にも參加して故伊藤公や故桂首相の歡迎會にも參列したが、蕭盡し美遊せる點に於ては、到底及ぶ處ではなかつた。今回各地の歡迎のやうに溫情を掬することは出來なかつた。是、畢竟併合前のことで、今回は一家の人として隔意なき歡迎であつたからであらう』と、吾人は、渾春の觀光團にもこの感想を與へたいものだ。

○吾人が、この遠來の珍客を迎へて、見せたい聞かせたいと思ふものは、一二にして足らぬ。先づ我が朝鮮人が　天皇陛下一視同仁の下に、安樂な生活を送りつゝあること、產業の興りつゝあること、普通教育の普及しつゝあること、勤儉貯蓄の風の養はれて居ると、衞生風紀の改善せられつゝあること、向上發展しつゝあること、其他一々枚擧に遑ないのである。

○然し乍ら、茲に吾人士の心せねばならぬことは、その歡喜を分たんことに急にして、說明深刻に亙り、却つて聞くものをして嫌氣を起さしめぬやうにすることが肝要である。今日我が朝鮮の進步發達は、別に說明を要せずとも、一見したものは誰でも了解することが出來るのである。吾人は只だ實際と誠と溫情とを以て款待の意を盡せば足る。然らばその襟笑の間に於ても、大なる了解が出來るであらう。

京日詩壇

春夜訪僧　西村　秋湖
花前月下叩山門。魚默人沈燈影昏。字頻有老僧煎茗待。禪心一轉絕塵魂。
評曰、機心一轉、絕塵魂、詩亦眞然。

湖山春曉圖　大島　奇山
湖上峰巒閃曉曦。桃花映水太多姿。春風綾動驚鷗夢。古渡扁舟解纜時。
評曰、筆致蕭然。

自題寫照　大田　木翁
老去猶存意氣豪。青雲高處見鵬翔。十年一夢塵中遊。贏得斑斑白髮毛。
評曰、誦詩再四、不堪同感之情。

遇舊友　木田　芳洲
白首相逢感不禁。同經世海幾浮沈。一燈對影尋前夢。風雨十年情話深。
舊緣備老奈何春。相逢此處若爲別。人只喜友情濃似酒。十年不減。
評曰、筆與意運旋、情亦佳質、淸時宜。

春夜訪僧　志賀　敬愛
石磬聲寒卍字欄。菩提樹下且盤桓。來參佛座因緣在。休道塵寰解脫難。丈室燭微花獨笑。鐘樓雲散月猶殘。春山寂寞心神爽。忘卻五情焦肺肝。
評曰、幽閒淸趣、後聯嶄新佳處、

湖山春曉圖　小永井槐陰
山端湖面曙色開。宿露未消濃釣臺。昨夜漁翁何處泊。輕舟一棹載春來。
評曰、卽景抒寫、中有高趣勝人處。

公告

金城地方金融組合登記事項中左ノ通リ變更ス
一　監事韓琰洙任期滿了ニ付大正七年四月二十五日定時總會ニ於テ改選ノ結果再選重任ス
右大正七年五月六日登記
京城地方法院金化出張所

法人登記

伊川地方金融組合登記事項中變更
組合長理事李昌植ハ大正七年四月二十日任期滿了ニ付辭任シ監事金鶴鍊任期滿了ニ付同日定時總會ニ於テ改選ノ結果四百九番地李興永ヲ選任就任セリ
右大正七年五月四日登記
京城地方法院伊川出張所

購買入札

第一號紅蔘入箱七千九百個　第二號麻布袋一千五百枚外二點
右購買ス詳細ハ大正七年五月九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

購買入札

諸用紙二十一點
右購買ス詳細ハ大正七年五月九日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

一、鉛筆外二十一種
右購買ス詳細ハ五月九日ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

拜啓益々御淸榮奉大賀候陳者弊店儀多年各位ノ不一方御高庇ニヨリ幸ニ大過ナク營業致シ來リ候段難有厚ク御禮申上候然ル處今般新設株式會社八木商店ニ從來ノ營業及權利義務一切ヲ讓渡仕リ候ニ就テハ何卒今後同社ニ對シ倍舊ノ御眷顧ヲ賜ハリ度奉懇願候乍畧儀茲ニ以紙上御挨拶申上候敬具

大正七年五月一日
（ス）八木商店
八木與三郎

弊社儀今般從來ノ八木商店ニ屬スル營業及權利義務一切ヲ繼承致シ大正七年五月一日ヨリ營業開始仕リ候ニ就テハ營業ノ主義方針等毫モ從前ト異ル處無之一層誠意勉勵可仕候間何卒相變ラ𛀁御引立之程偏ニ奉願上候乍畧儀茲ニ以紙上御披露申上候　敬具

大正七年五月一日
大阪市東區南久太郎町二丁目
（ス）株式會社八木商店
取締役社長　八木與三郎
一、資本金　參百萬圓
一、營業科目　綿糸、綿布、毛糸、絹糸布、雜貨

絕へず流るゝ水は常に淸澄なり
★サッポロビール
多く賣行ビールは常に新鮮なり
大日本麥酒株式會社
京城出張所

日本一　五月號
一部定價十五錢　送料一錢五厘　半箇年分送料共金一圓
東京牛込　南北社　振替東京一九一四

新興の五國……志賀重昂
實業界の百不思議……神長倉眞民
歐米飛行界近事……前田七男
眼の養生法……前田博士
大阪の日本一……大野忠義
花の雲（英譯）……法學博士和田垣謙三
社會問題の將來……法學博士石川半山
時事短評……中村進午
生活難觀……法學博士丸山和民
文那問題の研究……文學博士三宅雪嶺
歷代の內相……三宅雪嶺
無敵八十年……俵孫一
公娼私娼優劣論……大隈信常
日本一の電氣博覽會……鈴木春雄
修養問答……藤波芳美
獨禍來……陸軍中將佐藤鋼次郎
お七吉三……外ケ濱人
○日本一話……丸山記者
○藥にならぬ（漫畫）……田中比左良
○文明の太郎（漫畫）……
大阪陣……福本日南
○史談大馬行（實錄）……岩崎鏡川
○謠曲隨筆……松崎天民
美人の彫像……松居松葉
○雜誌の歷史……神長倉
○四人四色……步花生
○日本一の新便なる汽車……小杉天外
小唄供養……

▲双眼鏡▼
◎十五形六枚玉金十二圓
◎十三形六枚玉金十一圓
送料鮮内三十錢外三十錢
右僅少荷着至急御下命願上候
京城太平通南大門通
京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

最新刊
勞働經濟講話　福田德三著　定價一、八〇
戰後の事業　東方經濟研究會　一、八〇
普通動物圖說　内田戊小松　久七一、八〇
人義代用智利自家製造法　矢崎彦八　九五
心身摧掉代表的強健法　白井一　五五
家庭教育子供のしつけ方　高柳　八五
交際秘訣口々作　松崎双葉　九〇
川柳　德淡六　一、五〇
縮刷世間學　　九〇
算術自由自在　定價一、五〇
醫師の戰悔　前田亨苗　六二、二〇
科學新話謎の自然界　入畑屯山　一、五〇
殘野　田山花袋　一、五〇
現代新俳句　松崎仙果　九五
小說入門　樋田秋醉　五〇
論文作法　生田長江　五〇
描寫の心得　小川未明　六〇
新編芭尾蓮（縮刷）　小栗風葉　六五
詳解例解英文典新釋　定價一、九〇
大阪屋號　京城本町三丁目　一〇八六　振京城二五七三

北海材荷着案内
鹽地栓、楢、櫻、桂、柄
栓板機械挽
椅子卓子木取販賣
京城黃金町一丁目
和洋家具材料　ロクロ材
本明雜木店
電話三一七五番

○獨講和提議

前和蘭陸相コリン氏の倫敦行
獨逸側の傳ふる内容

獨逸外相キユールマン氏の平和提議を携へて倫敦に赴けりと傳へらるゝ和蘭人は前和蘭陸相コリン氏なりと信ぜらる同事件に關しては一切秘密に附せられ居るも獨逸側の或方面に傳へらるゝ處に據れば此提議はダウニング街なる英國外務省に對して爲されたるものにして其内容は左の如しと(ヘーグ電報)

(一)獨逸は西方に於ける一切の要求を放棄し白耳義は充分なる自治的國家として恢復せられアルサスローレンは獨逸聯邦内にて充分なる自治を與ふ可し

(二)東方に於ける現狀を今日の儘に維持し墺太利はトレンチの一部を伊太利に讓與す可し

(三)巴爾幹問題は國際會議に據り決せらる可し

(四)交戰國全部の會議を開き亞弗利加、小亞細亞に影響する植民地問題を決す可し

(五)獨逸は膠州灣に對する一切の要求を撤回す可きも支那に於て或種の經濟的讓與を受く可し

○獨帝親ら和を請へ

獨講和提議に對する英紙の所報

今回の講和問題に關しデーリーエキスプレス紙の報ずる處に據れば今回の講和を主唱したるは漢堡汽船會社長ベリン氏獨逸海運界の有力者等にして若し聯合側が此現狀を持續して獨逸に反抗するに於ては獨逸海運業將來永遠に世界海運界より葬らるゝに至らん是れ最も獨逸として考慮す可き重大事件なればなりと而して同新聞は論じて曰く獨逸は今や武斷派の全盛期にして西部に於て勝利を得露國に資源を獲得せるに拘はらず講和を提議せるは不可解なり獨逸にして誠意あらばカイゼル親ら和を請ふ可し聯合國は斯の如き誠意無き行動に對して顧慮する處無かる可しと(倫敦電報)

○聯合與國離間を目的とせるならん

不徹底なる獨講和提議

獨逸外相キユールマン氏の使者として和蘭前陸相コリン氏が倫敦に赴き英國外相に致したる講和提議に就いては其筋へも各方面より入電あり認し聯合國側にては獨墺今回の講和提議なるものは一種の探りにして聯合國の

▲歩調を攪亂 せんとする策をも含めるものとの意見に一致し居れり即ち過般來獨墺側は食糧品の缺乏を誇大に吹聽し國民の生活困窮の極に達せるを以て到底此の上戰爭を繼續する能はざるを表明し此の手段を採るに至りしものにて別報に依れば獨逸の該密使が齎せる提議は英政府に於いて手嚴しく拒絕せられたる事實ありとの說あり、英佛側ともに之れを一笑に附し居れるが所謂條件なるものを見るに孰れも汎漠不徹底のものにて毫も

▲具體的事項 を指示し居らず第一項のアルサスローレン問題は飽く迄自由權を主張し獨逸の要求を認容せざるべく第二東方の現狀維持は之れを認むるも伊太利はトレンチノの一部割讓位の丈では承知せずイソンゾ、アルバニヤに侵入せる地方の獲得を主張すべし第三巴爾幹問題は他日に讓らず具體的解決を要すべく其他植民地、支那問題皆抽象的にして且つ聯合與國離間を目的とせりと解すべき點あり聯合國は到底斯かる提案に對し眞面目なる評議を加へざるべし＝某外交通(東京特電)

東京より

在京一記者

最も劇烈を極めつゝあり。而かも獨軍の主力攻擊が、南方ピカルヂも、第二次攻擊に於ても、局部的勝利を占め得たるに拘らず、全局と同時に、長期の持久戰と爲らざるなき點とは、觀測者の齊しく一得たるは、聯合軍の强點なりと謂はざる可からず。イープルは、白耳るゝが如き事あるべからず。況んや獨軍の肉彈戰が從前の如く效果面を一變せむとするの作戰に出べく、獨軍も亦密集突擊策の損害今日の戰局が依然として長期戰と成るべきこと、想像するに難からざる也。底的勝利を制することは能はざるものと看做さざる可からず。然れども後に於ける作戰は果して如何吾人は刮目して興味ある戰局の發展如何を待たむとするものゝ也。

○米太平洋沿岸 船舶實査

米國政府檢察官は太平洋沿岸を巡視したる後陳述して曰く太平洋沿岸には四月一日以前に建造中又は契約濟みの船舶三百八十二萬噸あり内百萬噸は桑港區に、百四十萬噸はシヤトル區に、百萬噸はコロンビヤ區に、四十二萬噸はロスアンゼルス區に存在すと(桑港電報)

○梁氏動靜

梁士詒氏は七日再び入京せるが徐樹錚氏既に妥協に傾き張作霖、倪嗣冲二氏又從つて主戰を固執せざるに至れる矢先なれば特に一般の注目を惹き居れり(北京特電)

○歐亞聯絡急行 最終列車

滿鐵及び歐亞聯絡急行列車は九日午後五時大連發長春行八百一號列車、九日午後七時三十分長春發大連行八百二號列車、八日午後十時釜山棧橋發奉天行八百三號列車、十一日午前三時奉天發十二日午前六時釜山棧橋着八百四號列車を以て各最終列車とす(大連特電)

○澳國議會行惱む

墺國皇帝は總理大臣に議會閉會の權能を附與したるが官報は之れに就き右は目下大戰の決勝的時機に際し議會が一定の政策を案出し得ざる爲めに執りたる方法なりと說明し尙ほ議會を再開せば單に政爭を激烈ならしめ墺國の經濟的任務の遂行殊に國民をして最後まで戰はしむべき食糧供給問題の解決を困難ならしめんと附言せり(維納電報)

○英軍砲擊奏効

六日發軍事通信員の報に依れば最近三日間に亙れるフランダースに於ける英軍の砲擊は敵の有ゆる企圖を阻止し敵の前進は阻害され敵の後方部面は混亂を來せり(倫敦電報)

○チーブルジユ水道封鎖

チーブルジユ水道は今猶有効に封鎖されあり獨軍は障碍物を除去せんと努力しつゝあるも未だ成功せず(倫敦電報)

○英佛軍高地占領

英軍司令部附ロイテル通信員は五月五日報じて曰く强雨の爲め遮られたる敵軍は秩序混亂の兆ありロクルとドランクールとの間にある英佛軍は一千碼に亙る全線の陣地を平均五百碼前進せしめたり英佛軍は二三の荒廢せる畑地より敵軍を驅逐しコンデツト附近の高地を占領せり英軍察側の佛軍は同地附近にて頑强に支持されたる建築物を奪取せり敵軍の逆襲は多大の損害を蒙りて打破せられたり(倫敦電報)

○米軍敵の塹壕突破

米軍はローレン地方にて猛烈なる砲擊を行ひたる後獨軍塹壕の第三線を突破したるが敵は全部逃走して一兵を認めざりき猶米軍は六百碼に亙る戰線上の敵の防禦工事を破壞したり(華盛頓電報)

○大谷光明師

大谷光瑞師病氣見舞の爲め渡支したる大谷光明師及び裏方絹子は七日大連に着し星ケ浦の大和ホテルに入りたるが光瑞師は同ホテルに靜養中なり因に光明師夫妻は十三日頃朝鮮經由歸還の筈(大連特電)

◎總督淸津着

長谷川總督搭乘の弘濟丸は八日午後二時淸津入港總督一行は警務部長、府尹、道廳、高等官、警察署長、其他官衙職員、府協議員、組合議員、愛國婦人會員、學校生徒等の出迎へを受けて旅館鍋林館に入りたり(淸津特電)

○議員團渡鮮

衆議院議員朝鮮支那旅行團一行團長濱田國松氏以下十二名は八日午前東京より下關着山陽ホテルに入り同夜關釜連絡船にて渡鮮の途に就けり(門司特電)

◎鐵道借款に就いて(下)

延長の後經濟的價値あり

支那交通部顧問 平井博士談

南滿順德間の鐵道借款は前述の如く日支兩國間に調印成りしと雖も勿論兩國銀行の手を經たるものたるべき事言ふ迄もなし濟南及び順德沿道は野菜其他の農産に富み人口比較的稠密從つて商業亦旺んなりと謂ふを得べし乃ち今回の借款問題の

▽經濟的價値 奈何を言ふ時は沿道近郊に於ける諸物資の輸送は勿論の事なれども此の地方鑛産なきが故に遠く青島方面に移送せんより寧ろ沿線近郊に所在する貨客の輸送に任ずるを其の目的とすと言ふを可とすべし元來濟南順德間の鐵道敷設は固定的に順德にて終止するものとしては寧ろ經濟的價値少なきものにて早晩深く山西省に入りて彼地の廣大豐富なる鑛産物を運輸し彼地の富源を開發すべく

▽更に延長 せらるべきものたる意味に於て始めて價値ありと謂はざるべからず初め獨逸が濟南より順德府の南方彰德に至る間の鐵道借款計畫を樹てしも結局此の意味に於て有意義たるべしと推斷せざるべからず而して一面支那自身としては自國經營に屬する鐵道の緊榮を保護せざる理由は勿論存すべき筈なく即ち對獨關係及び對內經濟關係より日支間本借款の成立に關して一部人士の杞憂を招ける感ありたりと言ふを得べし而して歐洲戰亂以前迄は英露佛獨白耳義等各々

▽支那內陸に 對して比較的經濟勢力を有せしものたりしが歐亂勃發以後は各國とも戰費其他開發等の爲めに自國の資金を注入せしむる丈けの暇と餘裕なきに至れるものゝ如し茲に於て乎獨り其勢力を振ひ得るものは米合衆國のみとなれり而かも歐洲列國は諸種材料、軌道鐵材の如きに至つては益々自國の需要激增し從つて他國へ供給し得るものなき趨向に走り獨り鐵材を供給し得るは米國のみとなりしなり然るに過般米國亦

▽鐵材の禁輸 を宣明し殊に國鐵材の供給不足は愈々深甚を加ふるに至れる有樣なり這回の鐵道借款の如きに對しても米國民側にては充分なる投資家多々ありと雖も米國政府自身としては果して民間投資家をして支那に放資する事を許すや否や歐洲戰亂に直接の交涉を有せざる支那に投資するよりも寧ろ立場を換へて同じ交戰國たる露西亞等に對する投資ならば政府の好むところと言ひ得るやも測られず乃ち此の時局に於て支那に對する

▽米國民間の 投資に對して政府が直ちに諾と言ひ能ふや否やは疑問とせざるべからざる也」

と語り終つて更に話頭は支那當今の紛爭問題に移りしが博士は、『余は北京に在りて北方の形勢は知り得るも南方の事は知るに由なし要するは支那は來る七月にて大總統の改選期に遭遇するも目下の處選擧機關の缺陷を見つゝあり依つて七月迄に相當の段落を告げざれば再び無政府狀態に陷るやも測り難からむ』と聞へり因に博士は本年を以つて支那交通部顧問任期滿了の筈なるも更に繼續就任する事に決定せりと

◎期米廿三圓臺

仁川期米の先限は正米の出廻捗々しからず其の値頃の强調なると外米管理令の實施影響ボンヤリして見當附かざる等のため頃日來ヂリ高となり七日廿三圓十二錢に上り仁川期米の新記錄を作りしが八日は又復八錢高の二十三圓二十錢を示したり乃ち五日以來の相場は左の如し

五日	二十二圓六十一錢
六日	二十二圓八十三錢
七日	二十三圓十二錢
八日	二十三圓二十錢

尙ほ大阪相場も八日は一寸頭間へなるも大體騰の趨向にて六日二十七圓臺に上り居れり五日以來の高値は左の如し

五日	二十六圓八十七錢
六日	二十七圓十一錢
七日	二十七圓二十二錢
八日	二十七圓十六錢

◎川上理事歸期

川上東拓理事は七日東京出發歸鮮の途に就きたるが途中鄕里に立寄り十四日後歸京すべし

◎段氏國會成立希望

段總理は國會成立を熱心に希望し國會準備局に對し期日通り國會を成立せしむべく事務進行を督勵しつゝあり尤も六月十日の開會期日は切迫し居るを以て或は進行上の手續に變更を見るやも知れず(北京特電)

○丁抹の抗議に回答

支那政府は電信借款に關する丁抹公使の抗議に對し丁抹商事會社が先年締結の天津、上海、福州海底電信を抵當とした借款契約に何等抵觸せずと回答せり(北京特電)

◎飯田技師動靜

滿鐵飯田技師は吉會鐵道に關する實地踏査を了へ八日午後五時十分南大門驛著列車にて入京、滿鐵會社員の招待にて朝鮮ホテルに入り同夜九時四十分發列車にて直に北行大連に向ひたり

◎陸大生入京期

目下滿洲戰跡視察中の陸軍大學校生徒六十名外十三名の一行は校長陸軍中將淨法寺五郎、教官砲兵中佐岡部信行、同步兵中佐王味爲吉、同騎兵中佐森滋等の諸氏に引率せられ二十一日安東より平壤著一泊二十二日午後七時十四分平壤より龍山著入京師團司令部將校合同宿舍に一泊各所視察並に總督府員の講話等を聽取し二十三日午後八時五十分龍山發列車にて釜山に向け南行廿四日釜山發歸東すべし

百聞百種

日本では人口十四人に付新聞一枚に當るが米國では二人に付一枚である▲支那では七百人に付一枚にしか當らない相だが元來文明と新聞の數とは正比例して居る▲其處から見ると支那の文明はまだ〳〵前途遼遠だと某氏は語つて居た▲原政友會總裁は無風流な人だと云ふ者もあるが彼れで趣味の方面には凝り性であつて床の間の飾なぞは季節物を缺かさない相である▲此頃は住吉の櫻と洛北小原の有明櫻の對幅をかけて花活には麥の穗が活けてあると▲其れを見て惡る口屋の一人は櫻は最う遲過るものだから少し早過る麥の穗で埋合せて居ると▲其う云うては何の面白味もない斯う云ふ手合にかゝつては誰でもやり切れない▲禿頭の人が床屋で普通の散髮料を取らるゝのは心では密に不公平の感じもあらう▲黑田淸輝子の樣な有名な禿頭は床屋へ行つて代を拂はうとすると▲大抵の床屋は思召しで結構ですと答へる▲すると黑田子は安く置く譯には行かぬから顏剃りよりも手が要らないだらうと云ひつゝ常に普通の料金を置て來る相な▲之は床屋の方がいゝかうなやり方だと某禿頭子が感心して居た

□寄人在江南　今關天彭

思詩人在夕陽樓。樓下連天碧水流。鸚鵡洲前春又老。花花草草六朝愁。

▲原色版▼
金剛山探勝繪葉書 (一組六枚) 定價二十六錢 郵稅二錢 高木背水畫伯筆
朝鮮名勝繪葉書 (一組三枚) 定價十八錢 郵稅二錢
金剛山 元山の分は萬物相、海金剛の朝、温井里の水原、大同江の秋、赤壁江の朝、龍淵の夕 朝鮮名勝は玉龍洞を實地に描寫したるものにして其の筆致の優に加ふるに紙質を以てし印刷は歐米のものに比し決して遜色なき鮮麗なる得がたき良品なり。
京城日報社代理部 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇 電話(構內十八番)

商業登記公告
株式會社朝鮮商業銀行(變更) 取締役趙鎭泰任期滿了ノ處大正七年五月貳日重任ス 右大正七年五月七日登記 京城地方法院 平澤出張所

寫眞 出張撮影 寫眞銅版、亞鉛版 最も熟練せる技術を以て最も迅速に懇切を旨とし御需に應ず 京城日報社 寫眞製版部

京日案内
普通 一回前金 五十錢 番外一回前金 問(に拾錢增し)
▲申込後中止の節は料金不返戻 ▲六回以上の御申込は特に割引の事 ▲御照會は返信料附にあらざれば回答せず ▲御問合せは必ず數字の番號御記入のこと

普通
藥劑師 勉學の餘暇有病醫院或藥舖に被雇度報酬不望 電話二九九二番 オノ67
◎上等拾士約二三拾坪有り 御希望の方は至急電話二六二五番に申込あれ 62
◎看護婦及見習看護婦入用 南大門通(農銀裏)司生堂醫院 58
電話賣物あり百代の三聯もの有 御希望の方は電話二三〇三番へ 吾鄕 33
募集 店員十六七八歲以上五名 手代四十歲以上二名 京城市場町二ノ一二〇 電一九六〇 大橋商店 60
◎藥店 歸鄕に付居拔の儘讓渡したし南鮮道廳所在地にて頗る有望なり(姓名在社) 56

番外
靜岡名産 わさび粉 湯で溶し三四分間密閉しおけば香色辛共に生わさびと同樣に使用し得無比珍品 一瓶三十錢 朝鮮京城永樂町一 中野商店 63
御下宿 優翠旅館 弊館は閑靜にして室內極めて涼しく高等御客樣に對し親切丁寧御取扱申可候 西大門町 電話二六二五 61
募集 新聞配達人數名 携帶本人乞來談 希望者は履歷書 大漢門前 盛文堂 64
舊恩給 立替 四ケ年半迄利子月一歩二厘五毛 本人直接取引 櫻井町一ノ一九八 長電二五〇番 博多屋本店 66
士族 黑鉛 試掘 壹日拾噸 採掘 武種山より出づる 四百圓にて讓る但し先着者に 壹千 平南价川濱田 19
○中古ミシン買入 御用の方は電話又端書御一報を 京城鍾路二ノ二三〇 公園近電二三八 楠商店 52
勸業債券高價買入 市外は御一報乞う買入値段返信す 京城太平通一ノ一三 電二七九三番 朝鮮產業社 54

朝鮮彙報 大正七年五月號 (每月一回 定價二十五錢 郵稅二錢五厘)
口繪 調査及研究 能率增進の施設 日本海橫斷航路 地方事情 再び穀類害蟲驅除劑に就て 雜錄 西洋 立憲の由來と我立憲の精神 統計

朝鮮彙報號外 特別號 西伯利號 一部金廿五錢 郵稅二錢五厘
◀西伯利に關する調査▶
▲口繪 ▲地理、氣候、人口 ▲行政 ▲產業 ▲財政及金融 ▲交通 ▲貿易 ▲植民 ▲軍備 ▲教育及宗教 ▲雜錄
▲附錄 東部西伯利地圖
取扱 京城本町 ウツボヤ書籍店 振替京城二二七番 電話二五二三

易斷 高島易斷本部 神易協會 受付所 京城本町一丁目 受付午前八時より午後二時まで 電話二三五〇 高島易斷本部

朝鮮總督府裁判所書記 早川保次君編 改定增補 第四版 定價一圓 郵稅八錢
朝鮮不動產 商業 登記申請書式心得
不動産登記の部 商業登記の部
發行所 京城日報代理部 京城太平通一丁目 電話長三六番 振替京城二〇〇七三
取次所 大阪屋號 京城本町

中央停車場問題

◆米穀集散驛の設備

永遠の計畫を樹てるなら倉庫建築地を領有せよ

京城商業會議所副會頭 釘本藤次郎氏談

南大門驛新築に就て希望を述べよとの事であるが私は全體に於て非常に狹い狹いと感じて居る丈けで只大きく廣くさへ建築が出來るならば結構だと考へて居るのみで其外散髮屋を設け食堂を什ふのと云ふ事は私一人としては今日迄斯う云ふ事に一向交渉が無かつた故か希望も何も無いが唯一つ今回の新築を聞いて

◆大きな希望が

ある此の事は京城の一般商人に執つては頗る必要且つ重大な事柄であるから當局に於ても考へ及んで貰い度いと思ふのである、それは外でも無い倉庫の問題である、現在京城の倉庫は不足を感じてゐるからである以前は京城は米穀類に就ても消費場の位置にあつて集散地では無かつたのであるが近時一變して集散地となつた即ち爲替等の關係で以て

◆京城へ集めて

更に各地へ仕向けると云ふ事が一等便利であると云ふ事がわかつたのである此傾向は地方の產業が發達するに伴れて愈々增大する事は云ふ迄も無い事である即ち京城の停車場としては之に處する準備は最も必要の事では無からうか茲卅年や五十年では增築改築をしない設計をすると云ふ事であれば

◆土地の繁榮を

見越して建築されるであらうから或は當局に於ても充分講究された事であらうが私をして云はしむれば現在の場所であれば前面に擴大する餘地は無い或は今の稅關前の倉庫を取拂ひ南山の裾の鼻を掘鑿して擴げると云ふ話も聞いたが之れは愚な話であればあの儘にして措て寧ろ後面に擴げる方が得策では無いか

◆今の停車場の

裏を流れて居る溝を暗渠にして向ふの土地を全部買收して之に倉庫を建てる事になれば甚だ好都合であると信ずる現在でも彼地へ倉庫を建てる事は出來る事にはなつて居るが個人としてやる事になれば現在住宅が建ち並んで居る爲に立退きや其他に隨分面倒な交渉を生じて實行が至難しいそこで鐵道の手で一律に買收して了つて同じく

◆鐵道で倉庫を

建築して貸附するなり或は土地を貸して倉庫を建てさせる事になれば前述の發展に充分應じて行く事が出來ると思ふのである其外之から滿洲方面に發展する事にでもなれば保稅倉庫の必要も起つて來る問題である斯樣な設備をする場所は蓬萊町一圓を除いては外に一寸適當な場所も見當らぬ樣である、それから一ノ瀨驛長が

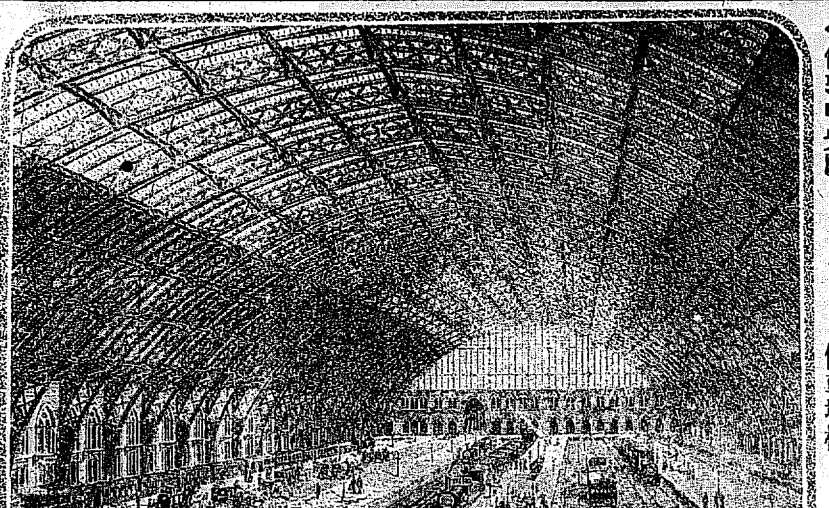
◆京城驛と改稱

する事を希望して居られたが私共之れは至極同感で京城市民として左樣あり度いと希望して居る事を附け加へて置く。

◆朝香宮女王

御快方に向せらる

朝香宮第一女王殿下には去る一日より盲腸炎に罹らせられ一時御重態なりしも七日夕刻より御熱減退漸次御快方に向はせらるゝ旨、同宮家より發表せられたり（東京特電）



◆倫敦中央驛セント、パンクラス停車場構内

○西部戰線に於ける獨軍第三次の攻勢運動は、南北兩方面に亙りて迎擊的に進行し、就中北方の戰線[illegible]○獨軍攻勢運動の目的が、中央突破に在りしことは、固より疑ひを容れずと雖も、第一次攻擊に於て[illegible]央突破の目的を達する戰法としては、決して徹底的作戰と謂ふ可からず。随つて此の戰闘が日を經る[illegible]に相違なしと雖も、英軍善く拒ぎ、佛軍善く戰ひ、獨軍に對して非常の損害を與へ、其の前進を阻止し[illegible]して、之を敵に委せざる可からざる場合に至りたればとて、之れが爲に直に英佛海峽の死命を制せら[illegible]の豫備軍を保留し、敵に對して攻擊又は逆襲を加へ、時機の熟するを俟て、守勢より攻勢に轉じ、局[illegible]其の未だ戰線に使用せざる豫備軍及び若干の新銳師團を保留し機會の熟するを待ちつゝあるに於て[illegible]局部的の勝敗如何は未だ豫じめ知る可からずと雖も、獨軍が中央突破の目的を達する能はざるが如く、聯合軍も亦獨軍を壓擾し、徹[illegible]偵くまでも、堅忍持久、獨軍の進緻的攻擊に屈せず、時機の到來を俟つて、攻勢的作戰に出でざる可からず。知らずフォツク將軍の最[illegible]川、龍山、南大門の各驛附近に[illegible]の奉納もありさ

讀者の希望

▲矢野鐵道課長が驛に就きての希望の談話を見るに一理ある事と思へり、尚一階の設備は余は矢野氏の意見に同意なり、婦人待合室の不必要は素より一二三各等待合室を區別する事も不必要と信ず、只一個の大なる公衆溜あれば足れり、或は此の時現在の状況を見ては一見暴論の如きも、新築驛が茲三五十年間の前途を見越しての建築ならば決して暴論に非ず、即ち公人にあれ私人にあれ日に多忙となりつゝあり停車場に幾十分を無爲に費す者は無きに至る可し、悠々待合室に入りて休憩するの必要なし、殊に現在に於ても一二等待合室は内地人の占有に歸し三等乘客又多數入込みて熱鬧雜踏を極めしつゝあり、驛は無しし無駄なる世話を焼かしめつゝあり、停車場に至るのは發車數分前に到着すれば可ならずや（屋城驛樓生）▲本町郵便局長が驛には朝鮮人に對する指導設備が完全で無いと云はれましたが吾々朝鮮人は實際其感じは深いです乘車注意は何處に書いてありますかわかりませんてれが爲に知らないが大きな荷物を持つて改札口で叱られてゐる事は毎日見ますがあれも稱著でやるのではなく全く知らないからですどうぞ新築驛には完全な指導設備を望みます（老人觀の末席）

◉水上飛行機の成功

七日海軍航空隊附丹羽中尉はベンツ百馬力水上飛行機の昇騰力試驗を爲し二時間にして三千四百米突に昇り水上飛行機としての世界的記錄點に達したり（東京特電）

◉金貨輸出首魁逮捕

六日門司稅關に於て支那金貨輸出發見し七日首魁嫌疑者逮捕されたり（東京電報）

◉朝鮮の文明を見せたい

＝輝春視察團＝東亞煙草に於ての感慨

◇朝日を露西亞の煙草だと言はれてゐた◇

輝春視察團は中央試驗所に於て染織、窯業、土木、建築、應用化學の各科を參觀したが工業專門學校生徒が鍛冶工となり或は泥塗になりて

◎陶磁器製造

器の實習をなし機織をなし居るを見て『此ならば朝鮮の古い文明を復興する事も出來れば又世界の大勢に乘じて化學工業を進歩せしむる事が出來る、自分に男の子があれば直ぐにでも入學させる』と團長黃内吉君徹頭徹尾感心して了ひ、陶磁器の試製品を見て生徒の製作品ではあるまいと疑ふ東亞煙草會社では

◎幼年職工の

機敏な作業を見て機械的だと驚き工場巡覽中は一足每に見惚れて引率者や案内者の氣を揉ませた團長東亞煙草會社の社員に向つて曰く『私共は輝春でも此の煙草を吸つて居りましたが朝鮮で朝鮮の兒童の手に依つて作られたものとは知りませんでした只一言御忠告を申上げたいのは

◎煙草に英語

などを書いて置くから西洋人は東洋人を馬鹿にするのです東洋の製品は須らく東洋の文字を使つた方が宜くはありますまいか、私が先年西伯利亞に旅行した時朝日を持つて行きましたが其時露西亞人は朝日を指して其煙草は露國製で東洋へ輸出したものだと言つたから

◎今日までも

露さう信じて居ました此點から見ても早速外國語などは廢した方が宜いだらうと思ひます』と社員をして一句無からしめ更に語を繼いで『支那の官憲をも連れて來て朝鮮の文明を見せてやりたい、斯る驚く可き

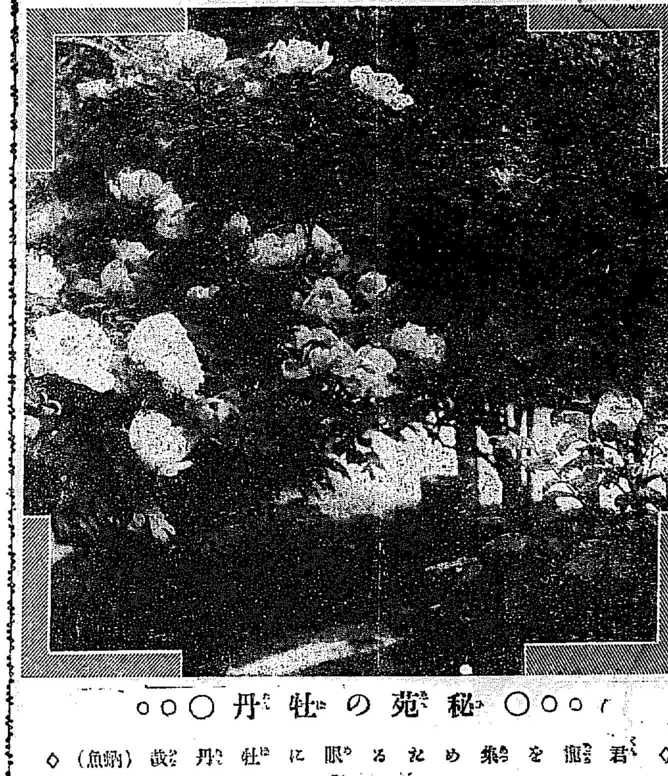
◎文明の程度

を見せたならば彼等も我々に對して壓迫も加へまいと思ふ』と切齒する之に和して一靑年は『我々は今度の視察に依つて非常に心強くなつた或は支那人如きは我々朝鮮人より見て文明の程度が低いと言ふ確信を得た』と肱を張る一行は午後四時東亞煙草會社主催の招待宴に列す可く同會社を辭し明月館に赴きたり

▲『東亞』の歡迎

明月舘樓上にて

東亞煙草會社の輝春視察團歡迎會は八日午後五時明月館に於て開かれたるが宴酣にして馬詰東亞支店長一場の挨拶を述ぶるや黃團長起ちて此の美酒佳肴に配するに漢陽一流の美妓を以て我等を歡迎せらるゝは誠に謝するに辭無し、而も猶ほ一層貴社員に對して感謝措く能はざるは我同胞四千の多數に生業を授けられ其家族二萬に生活を得せしめらるゝ事なり將來尙ほ貴社業の發展を祈ると同時に多數の同胞に多々益々業を授けられむことを希望すとの意味の挨拶を述べ妓生の數番の歌舞にて興を添へ衷心より歡を盡して退散せり



○○○秘苑の牡丹○○○

◇君讀を集めたる眼に牡丹哉（納魚）◇

◉工業煙害防止法完成す

三井、三菱、古河等の各工業家の共同經營に係る金屬工業研究所長理學博士和田維四郎氏は大正五年以來志賀、飯田兩博士と共に工業煙害防止の方法に關し鋭意研究中なりしが最近完成せりと（東京特電）

◉京城荒しの大賊

＝十五箇所より千五百圓＝

京城にては本年三月以降内地人住宅にして盜難に罹る者續出し犯人は常に家人の不在中錠前を捻ぢ切り或は裏口より忍び込み衣類雜品を掠め行李の儘擔ぎ行く大膽なる曲者なりしが所轄本町警察署にて犯人嚴探中此の程柳樵、佐々村兩刑事の手に件の大賊が逮捕されたり此奴は廣島縣那賀郡上麻村生れ前科三犯の千代延謙吉(三七)と言ひ先頃迄本町四丁目の京城庵の料理方に雇はれゐたるものにて三月二日午後九時頃櫻井町二丁目秀島某方に忍び込み衣類雜品等價格八十八圓の物を窃取したるを振出しに外十四箇所より總價額一千五百餘圓の金品を竊取し贓物は各町の質屋に僞名入質し得たる金は賭博と遊興とに消費したる旨自白し取調べの上身柄は八日京城地方法院檢事局に送られたるが被害者氏名及び金額等は左の如くなりと▲並木町青木衣類雜九點價格百十八圓▲櫻井町二丁目白石五點九十三圓▲同町町田三點六十五圓▲西四軒町藤澤八點八十九圓▲大和町二丁目永松七點百六十圓▲黃金町二丁目細川三點三十八圓▲永樂町二丁目星子四點七十圓▲黃金町一丁目内現金外二點三十五圓▲櫻井町二丁目荒川七點四十六圓▲旭町一丁目西崎六點七十二圓▲櫻井町二丁目長南九點六十五圓▲大和町二丁目齋藤十二點二百五十圓▲初音町船曳ヶ點百九十四圓▲櫻井町一丁目永峰六點百五十六圓

◉私生兒を壓死

京都府下龜岡町和田まつ(二二)は京都にて奉公中吉田中學生服部松太郎と醜關係を結び姙娠男兒分娩せるを壓死し炭俵に容れ遺棄せし事發覺し捕はる（京都電報）

◆紙質の惡い私製葉書

＝規定に反せぬ樣に＝

近來時局の影響で紙價暴騰の結果私製葉書の紙質が甚しく粗惡になつて來たが之は明治四十四年府令で發布された私製葉書製式規則に

一、寸法は縱四寸五分以上四寸七分以下横二寸八分以上三寸以下とし

二、厚さは政府發行の郵便葉書を標準とし又重量は一枚八分を標準とす

とあり尚又強靭にして曲折の虞なく紙質も亦政府發行のものと

◆同質 以上のものたる事と規定してあるが近頃廉いものを使ふと見えて此の規定に違反する者が尠くないさうで就中紙の薄いもの又は粗惡なものが多いが是等の紙の薄いものは切手を貼付すると數枚密著するばかりでなく郵便局の日附を捺す場合又は區分の場合等に

◆不便 此上ない從て誤謬の事故が起り易いそれのみでなく規定に適合しないものは差出人の何人たるを問はず一樣に總て郵便法規と同樣の取扱ひを受ける事になるから先方に對し思はぬ迷惑をかける事になる

●中野令孃追悼會 京畿道警務部長中野有光氏長女にして一昨年五月十日京城にて病死したる故中野昌子(一八)の追悼法會を總監部内有志にて十日西本願寺にて營むべしと

えんげい

▲空彈 有樂館にては九日より新寫眞と差替ふる筈なるが今回の呼物さなるべき寫眞はユニヴァーサル社特作の悲劇空彈全五卷にして右は松井須磨子が先年當地にてトスカと題し上演せるものの由其他の寫眞は左の如し△滑稽鳩天下△實寫ユニヴァーサル週報四十九號△喜劇自動車好き△活劇デブの曲乘り全二卷△悲劇空彈全五卷△新派悲劇舘樓全四卷

▲大正館 十日より既報の如く新派特別興行として假名手本忠臣藏十卷を出す由なるが例の松之助一流の舊劇に大道具大仕掛を用ひありといへば芝居で觀られぬ面白味を發見するを得べし

▲黃金館 連續寫眞ミラの秘密にて開館中にて八日夜は殆んど滿員の盛況を呈したるが九日もなるが、本紙讀者に限り本紙刷込の割引券を持參すれば割引あるべし

流經新藥レスクリン 月經

月經閉止四五ヶ月以内に確實の流經作用を顯はし其目的を遂げ得らるゝ效果を有す一瓶一圓五十錢送料内地十三錢海外卅錢切手一割增說明書三錢切手添申越進呈 振替大阪三六七〇番 大阪北區曾根崎上一丁目三六地 發行所 常盤藥院

ぢんぞう

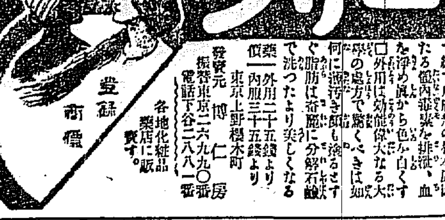
腎臟炎にて蛋白質排泄し困難せる慢性と雖も効顯著しき良藥あり同病困難の方は藥書にて照會あれ報す◎播磨國明石棚屋町 天龍堂

白色洋血劑 ペーリン にきび そばかす

アカ鼻、顏色ドス黑さを治し眞から色を白くする最新の學理による世界的流行のペーリンに内服藥と外用藥との二種あり口内服藥は白色淨血劑にて總て皮膚病の根本原因たる血内毒素を排泄、血を淨め眞から色を白くす口外用は効能偉大なる大學の處方で驚くべきは如何に濁汚き顏も滲るさすぐ脂肪は奇麗に分解石鹸で洗つたより美しくなる

藥價 内服三十五錢より 外用二十五錢より

發賣元 東京上野櫻木町 博仁房 振替東京二六九九〇番 電話下谷二八八一番 各地化粧品藥店に販賣す



ペーリンに化粧用もあり 登録商標

西村眞太郎著 日鮮會話精通 定價一圓三十錢 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

京城龍山等各地に僞物有御注意 詳細は昨日の本紙を御覽

りん病ばい毒 忠告 謹啓

◇にせドラッグあり御注意

近來東京其他各地に偽ドラッグ有り購者甘らるゝ模樣あり當京城に於ても左記以外にドラッグ商會と稱する店あらば其は全く當商號を盜用する詐欺漢なり切に患者諸君の御注意を乞ふ

本舖大阪 合資 ドラッグ商會 花柳病專門藥房 京城南大門外停車場通 ドラッグ商會 滿鮮本部 電話二五六七番 振替京城四六七番

大阪ドラッグ商會 京城黃金町三丁目電車通 龍山錦兵營前停留所 同 支店

▲夏物製造開始▼

洋燈類各種 鐵道用硝子 電氣瓦斯セイド 船燈用器 理化學用硝子 標本菓子瓶各種 各色硝子各種 食器類一式 瓶類特約店

總督府醫院 京城電氣會社 各官衙 山岸機械部 京城林町 御用

小野玻璃製造所 京城黃金町二丁目 電話二七九一番

小野玻璃器販賣部 京城永樂町二丁目 電話二八七九番

村上瓶店 京城黃金町三丁目 電話三三二四番

消防ポンプの精鋭は熊平に蒐めてあり 京城の

ポンプ。消火器。輕便ポンプ 熊平支店 電話長六二四番 振替京城三一五二番

淫羊藿エキス 人參に優る滋養強壯劑 通稱三枝九葉草エキス

定價 廿瓦入金壹圓 卅瓦入金壹圓五十錢 四十瓦入金壹圓九十錢 五十瓦入金貳圓三十錢

送料 府内二錢 外三十錢

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙なる効驗ありと支那、朝鮮兩國人に愛用せられしが產出一地方に限られ高麗人參の如く普く知られざれども其の効驗は遙に人參を凌駕すとて醫家の重用する所なり然るに如何なる成分が人體に有効なるかは彼の神秘的なる人參と同じく明白ならざるも本劑が殊に効能の顯著なる事は東醫寶鑑その他の醫書により明白なりとす而して斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師がエキスとなしたるものなり

主効 神經衰弱症、貧血症、肝腎臟病、胃腸病、腺病、生殖器病、リウマチス、ヒステリー、ヒポコンデリー、老衰、精力減退

以上に依り適應症左の如し

(1)精神を盛んにし精神を爽かにし精力を增し元氣を良くす (2)思考判斷及記臆力の減耗を癒す (3)讀書計算の疲勞を癒す (4)安眠し赤眼の疲れを癒す (5)筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す (6)消化及便通を良くす (7)產前產後及病後の衰弱に良し (8)血の道氣鬱症に良し (9)子なき人に良し (10)貧血虛弱を癒し食を良くす (11)手足腰腿の冷ゆるに良し (12)陰萎遺精及子宮病に良し (13)瘰癧に良し (14)長壽なるべし

全國一手販賣 朝鮮京城府太平通一丁目 合資會社京城日報社代理部 電話長六〇九番ノ三 振替貯金口座京城三〇一六番

花吹雪

大阪　中谷青霞

(二十五)

すわこそ御參なれ、横紙破りの姥部が云懸り、若殿に事あらせては一大事、見まれ此場をお免し申すが專一と、井戸淸兵衛主税之助を押圍うて、仁王立に立塞がり。

『三平〳〵、跡は某引受けた、お事は若様を伴うて此場を早く、それお邸へお供申せ。』

僕の三平は狼狽眼。

『若様、さゝ早く、お供致しませう。』

『ちやと申して……理不盡の云懸り、淸兵衛一人を跡に殘して、……』

と主税之助は三平が捉へた袂を振拂うて行かうとはせぬ。

『ねゝ淸兵衛一人にも不足の相手、任せて置て此場を早く、さゝお歸りなされませ、三平何を躊躇する、扶くお伴ひ申さぬか、ねー氣の利かぬ奴めッ。』

と淸兵衛はハッタと睨む。

『ちやと申して此儘に……。』

『ねー疾くお歸りなされませ、お前様がおはしては何彼の面倒でござりまする、さゝ疾くお邸へ。』

と氣を急く淸兵衛、三平睨まれて縮み上り。

『若様、さゝ早く……。』

と遮二無二主税之助を引立てる。

『なれど此儘には……。』

と主税之助、淸兵衛の身の上如何なる事や仕出來さんと回顧り勝ちに氣をそゝる。

『早うお越しなされませ。』

と三平は後をも見ずに引立て行く、淸兵衛は大手を擴げて仁王の如く突立つて、早く逃げよと氣をあせる、兵馬はこれを見て大いに怒り

『ヤア小癪な老耄れ、指一本差すか差させぬか、兵馬が腕の三尺二寸、受けて見やれ。』

と腰なる一刀すばりと拔く。

『なにを……。』

と身構ふる淸兵衛の眞向、二つになれと大上段に振りかぶつて發矢と斬附くる刄の下、掻い潜つて腰の番ひ、足を擧げて丁と蹴る、蹴られ……よたじくと三間、どつかと尻居に打倒れた。

此勢ひに辟易して、町奴共は容易くは得進まず、左右を見合して尖先を揃へる。

『ねー、誰が月岡の老耄れ一人、兵馬殿、某爰に控へて居ります、すわと云はゞ粉な微塵、雜作はござるまい、悠んでおしまひなされませ。』

柵川は一歩退がつて、裾端折り、朱鞘の一刀拔き放つて、危しと見わたら只一打と身構へる。

四邊は漸く暮づく日影、刄の光隅田川の水に映じて殺氣滿々、ざわ〳〵と戰ぐ蘆の葉擂れ、バラ〳〵と立つ鷗の羽音、聞は總なう追つて來る。

井戸淸兵衛は櫻の大木を楯に取り、カラ〳〵と打笑つて

『はツはツ〳〵、この淸兵衛を睨酌の肴にしようとな、ちやツ釣りが遊ふわ、隅田の雜魚ではござらぬぞ、生酔ひの奴共、見損うたか、此蝙蝠武士、鳥なき里の羽叩きは此處……めたりではならぬが合點か、さア來よ、井戸淸兵衛が面を見せう。』

春の夜の二十日月おぼろに昇つて互ひの面を幽かに照した。

日報歌壇

口連翹　柿沼あづさ

いかなる陽の落つるころ庭裏のうら連翹に鳥の來啼きやますも

連翹さくこれの崕はしづかにてかなたの山に霞かゝれる見ゆ

わづかにも延びし連翹のたれ堆肥の中にましろき映なのぼしたり

([illegible])

[illegible]支那人の姥使ひ

[illegible]より小蛇とりだし手に入れる支那人の姥は[illegible]

口春の日　てい一

[illegible]

日報俳壇

春燈吟　―其の二十五―

夏近し

窓開けて工場人や夏近し　但人

麥畑に笹の根張りや夏近し　水子

杵を持つ汗にじむ日夏近し　紫光

夏待や軒に吊るせる布の色　笛木

夏近し小虫呑く水夕べ　麺南

蘇鐵八ちり〳〵と來て啼蛙哉　水木

寢室の踏みを冷ねある板間哉　但人

灯に遠き跡の夜音の静かさよ　笛子

口軒の垂樋を聽きつゝ　―山鐘吟社―

[illegible]

■正誤

[illegible]

■平壤オンドル會詠草

桃

廚明る水甕の桃に射す夕陽　鴨原

島桃暮れて海に月出でたり　同

桃の咲く丘辺の陽は濃けれ　同

海見晴る丘の一つ家桃咲けり　同

火葬場の傘下り桃の雨淋し　同

桃の花散る崖の眞下の藁家　同

支那芝居舞臺に夕陽照る緋桃　櫻木

雛仕舞ふ袖觸れて桃散る淋し　同

村外れに桃一ト木ある岐れ路　同

町に歸る兒が皆桃の花持てる　同

山を負ふて江に沿ふ里の桃盛り　小

桃に彳み父母頻に話し居る　同

桃の梢に小鳥が花を滑して居り　同

測量旗に風少しあり桃の村　城山

病床に桃生けられて朝晴るゝ　同

朝日ゆるやかな桃影の白桃　竹外

皆が酔ふ桃花に畫の風たてり　同

桃を育む旭鳩子眼を明けし　芳宙

丘の向ふに沈む陽が桃に滲ませる　同

暗の桃明かに井戸が穿たる　同

湖に乘り來る鷗よ桃に光り　同

水車光る濃き日の桃に帆　同

湖の明るき桃にうらゝ書堂哉　同

新刊紹介　(到着順)

▲朝鮮彙報(西伯利號)　西伯利に關する調査を網羅せしものにて正確にして豐富なる材料により地理氣候人口政產財政交通貿易殖民軍備教育宗教其他な詳密に記述したるものなり附録として四頁大の色彩入地圖を添へたり(三十五錢朝鮮總督府)

▲ホトトギス(二ノ八)　暮春の賦虛子　明治座四月狂言(鳴雪)雜詠　前夜の鳴雪翁(祖介)誌上に現はれんとする俳句(三宅)合の事(左右)作句入門　雁石鼎　俳句と家庭(玉蛇)ごんた俳句・作つたらいか(虛子)外數項及び句集例によつて賑やかなり(二十七錢、東京牛込市ヶ谷船河原町一二ホトトギス發行所)

▲黑潮(五月號)　社論に政局に對する觀測　列强の帝國的經營(牧野義知)對露對支の同盟(安)大隈侯公思想より見たる醉漢他　谷注一蛇田尻市長論(村倉當)其他小説二篇創作欄には谷崎潤一郎秀見の手紙(鈴木)讓太花咲く頃(徳田秋聲)等あり(三十錢、東京麹町内幸町南陽通信社)

▲長春貿易協會月報(十六)　三十錢長春東十八區一號　地同協會

▲朝鮮醫學雜誌(二十一)　非賣品朝鮮總督府醫院内同學會發行

▲極東時報(五九)　十八錢東京々橋區築地明石町三三共社

▲道樂世界(六ノ四)　十錢京都下京區魚棚通烏丸西入北町一八二日本道樂世界社

▲都會及農村(四ノ五)　十八錢東京麹町區平河町五ノ二三森陽堂

▲判例公論(一ノ三)　二十五錢東京下谷仲御徒町三ノ一六共社

▲經濟資料(四ノ五)　二十五錢東京神田北神保町一二東亞經濟調査局

▲行方(一ノ九)　十七錢東京麻布一本松町共社

▲民聲(二ノ七)　十錢東京神田[illegible]

▲新公論(五月號)　特大號として紙數を增し材料を精選して内容充實し最も興味多く讀まる(四十錢東京麹町區加賀町一八新公論社)

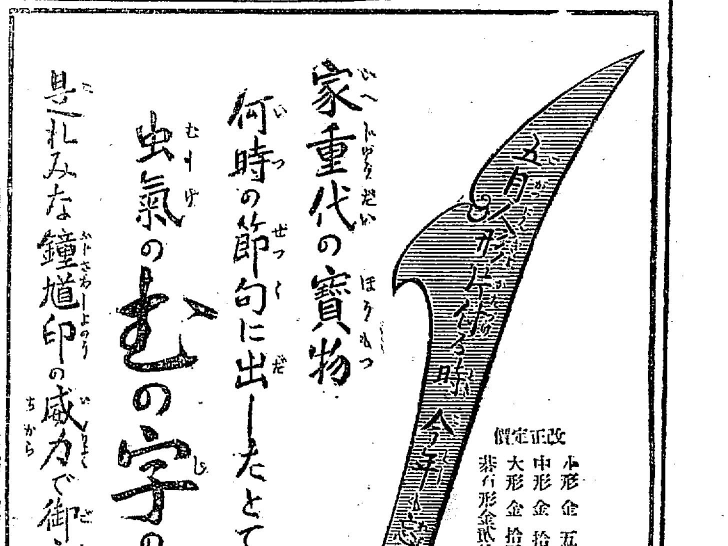
▲有望ナル樂古貿易攻對策提案　朝鮮銀行調査局

▲文明ノ日本(第十一號)　五十錢　千葉縣[illegible]

▲實業之世界(二五ノ八)　十五錢東京[illegible]町有樂町一ノ四共社

讀者の領分

此頃では金物の高騰[illegible]の飛び出して[illegible]の道路の下の[illegible]に故障が出て暗夜の往來は[illegible]誠に危險千萬な[illegible]にて此頃不製の枠にて[illegible]急の策みれ取られ我々往來は大に困難したるに昨今府在の金枠を木枠に取替へられつゝあるマサカ府役所が古金物屋に賣る積りでもあるまい、木製は節約の[illegible]が來る夢臨月の[illegible]には安心して却て危險の[illegible]に落ちるかも知れぬ、現在のものを保持する方法を取りては如何、土木局に[illegible]の技術も居る筈[illegible]……黃金町[illegible]日の三[illegible]……(御承下より)



下關期米

八日後場(外米貸付と閑散商和安)

[illegible]

大阪期米

△八日後場
▲當限寄付
▲中限寄付
▲先限寄付

[illegible]六十錢先二十三圓千度と十七錢在地、限三節二十二圓ノ七錢ノ錢四錢ノ錢四錢二節九十四錢三錢五十錢三錢五錢八錢ノ錢十
[illegible]安に寄付イ錢と伸びたるも途に四節二十二圓二十二圓ノ一錢二錢一錢九十錢一錢九錢五錢六錢四節五十錢四十九錢八
三圓の關門[illegible]り九十錢と落ち四△中限二節二十二圓六十錢六十十錢八十九錢八錢七錢八錢六錢五錢七錢五錢六錢五錢四錢五錢四錢
[illegible]引を反し[illegible]五十五錢先九十四[illegible]平均値六十三[illegible]節五十五錢三錢四錢三錢四錢五錢二錢八十錢一九錢五十錢四十九錢五十錢一錢

八日の七月限[illegible]